～　はじめに　～

実行計画について

実行計画は、第５次枚方市総合計画基本計画を推進するため、基本計画に掲げる重点施策などを踏まえながら、４年間で実施していく具体的な実現計画です。

～　第３期実行計画＜令和６年度～令和９年度＞　～

第 3 期実行計画は、総合計画の基本計画に掲げる防災、健康、子育て、都市基盤、環境などのさまざまな部門にわたる 28 の施策目標や、基本計画の推進に向けた基盤づくりとなる 4 つの計画推進を具体化していくための施策で構成しています。施策ごとにめざす姿を設定し、その姿の実現に向けて各施策に位置付ける取り組みを推進することで、市民満足度を向上させ、第５次総合計画に定めるめざすまちの姿を目指していきます。

※第５次枚方市総合計画について

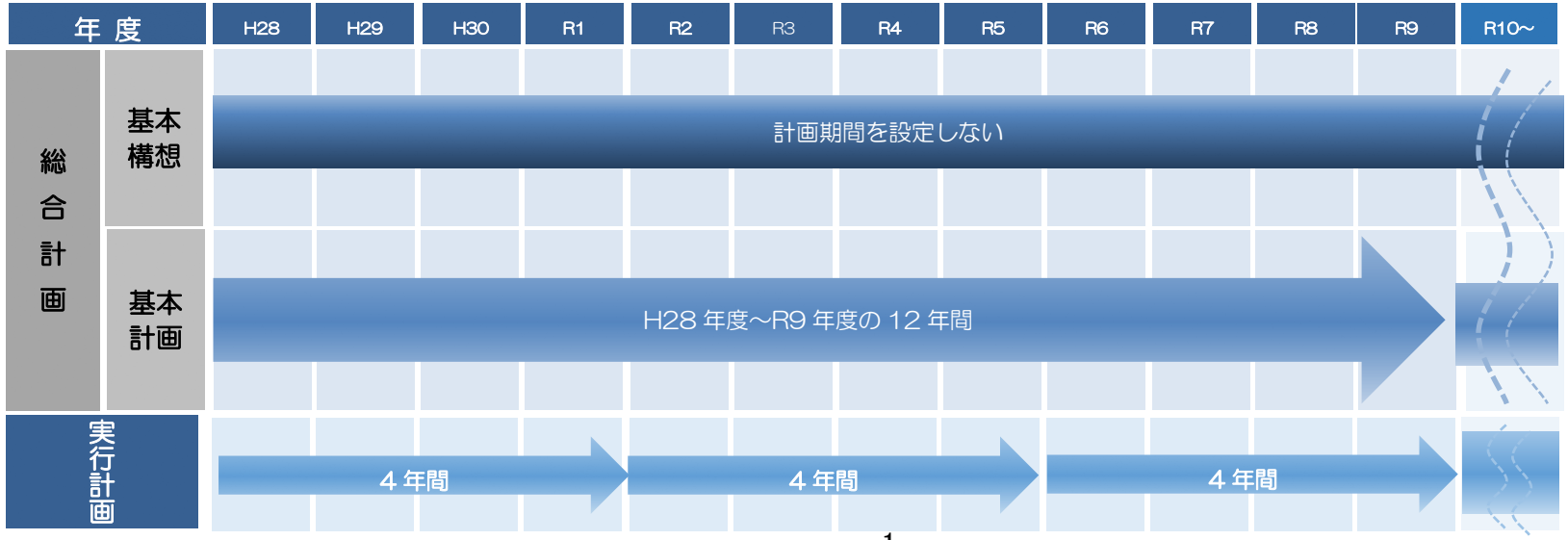
基本構想

平成 28 年度を計画始期として、計画期間を設定せず、長期的な視点に立って、本市のめざすまちの姿を**「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち　枚方」**とし、その実現に向けて５つの基本目標等を定めています。

基本計画

基本構想の具体化を図るため、平成 28 年度から令和 9 年度までの 12 年間において重点的に進める施策を示すとともに、広く各分野における取り組みなどを定めています。また、部門ごとに、市民の評価により進捗を測る主観的指標と客観的な数値により進捗を測る客観的指標を組み合わせた施策指標を設定しています。

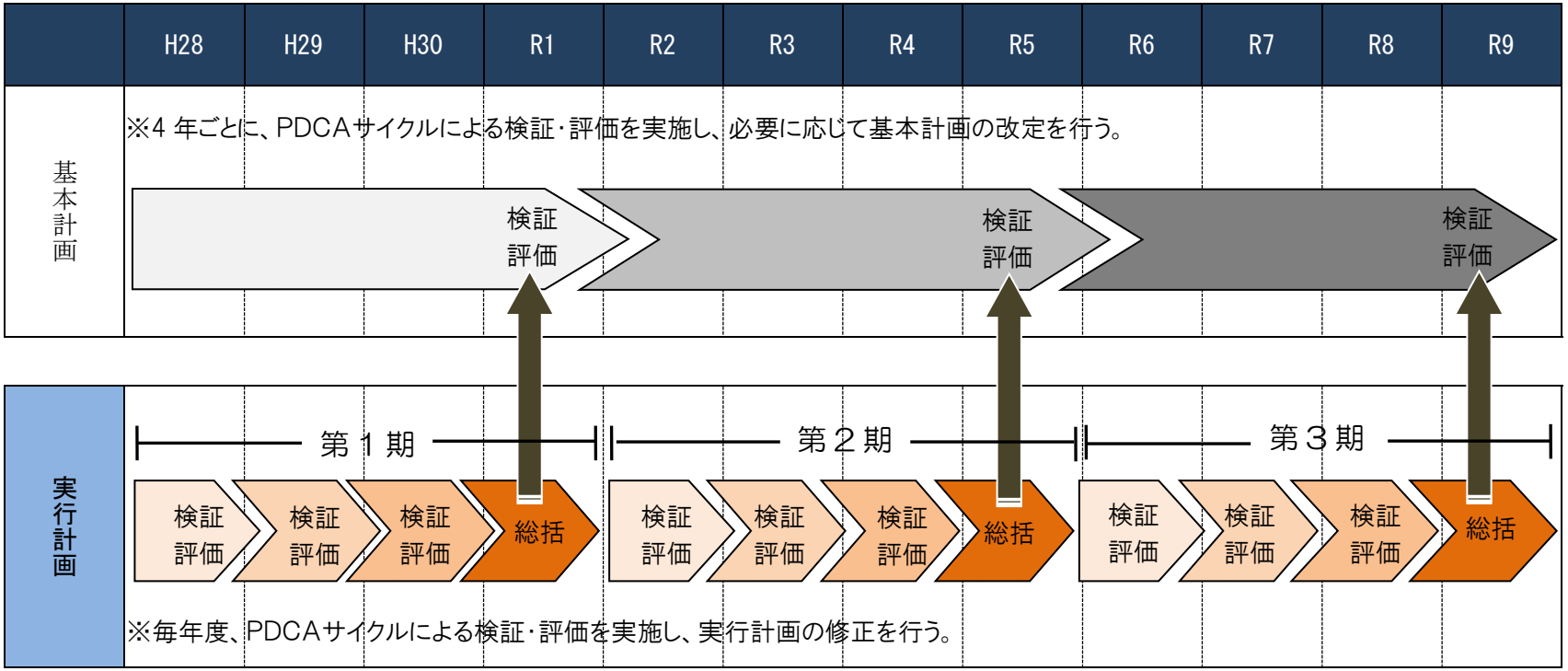
○計画の構成と期間



実行計画の進行管理について

実行計画については、具体的な取り組みの実績や指標、主観的指標で把握する市民満足度を活用することで、毎年度、検証・評価しながら進行管理を行い、評価結果や社会状況等を踏まえて、必要に応じて実行計画の見直しを行います。なお、検証・評価については、市自ら行う内部評価と合わせて、有識者などからなる施策評価員による外部評価を行うことで、客観的に計画が効率的・効果的に推進しているかなどについて確認を行います。

〇基本計画と実行計画の検証・評価、推進の流れ



●施策シートの見方

施策シート【01_01】

危機管理部、健康福祉部

担当部署名を記載しています。

実行計画の、第５次総合計画基本計画における位置づけ（28の施策目標と4つの計画推進）とめざす姿（市民意識調査にて把握）を記載しています。

施策名称	**防災体制の強化**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要		大規模災害の発生に備え、市の防災体制の強化を図る。

この施策の実施によりめざす姿とそれで測定する主観的満足度について記載しています。

施策全体の取り組み概要を記載しています。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
１．備蓄品管理の効率化 ○備蓄・物流管理システム導入 ２．新庁舎の防災拠点機能の検討 ３．広域避難訓練の推進 ４．家具固定器具の購入・設置支援 ５．枚方消防署の更新に向けた取り組み ６．地域防災力の向上 ７．災害時要配慮者の避難支援	４．家具固定器具の購入・設置支援 ○家具固定器具の補助及び設置支援開始 8．指定福祉避難所の設置	４．家具固定器具等の購入補助（自助促進事業） ○購入補助実施	５．枚方消防署の更新に向けた取り組み ○事業支援委託（DB方式の場合）

具体的な取り組みの各年度における内容を抜粋し、記載しています。

●施策シートの見方

施策シート【01_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

実行計画期間において、新たに実施する取り組みや拡充を行う取り組みについて、それぞれ【新規】【拡充】を記載しています。

施策に紐づく具体的な取り組みについて、各年度における内容を記載しています。事業の進捗、施策評価の結果や社会情勢等を踏まえて、必要に応じて見直しを行います。

時点における主な担当課を記載しています。調整に係る部署等については記載を省略しています。

施策名称	防災体制の強化

1．備蓄品管理の効率化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
備蓄品管理台帳のデジタル化として、備蓄・物流管理システムを導入・運用。	・備蓄・物流管理システム導入 ・図上訓練での活用	継続	継続	継続	危機管理対策推進課

取り組み課題・今後の方向性	取り組み結果	取り組み結果
円滑にシステムを利用できるようにマニュアルの改定や職員研修、訓練での活用など活用機会の増加を目指していく必要がある。	備蓄・物資管理システムを導入し、図上訓練においても活用した。	備蓄・物資管理システムの操作研修を行い、図上訓練など訓練で活用した。
年度ごとの達成状況	◎	◎

【具体的な取り組みの進捗】

●取り組み結果

年次の取り組み内容に対応した取り組み実績

●年度ごとの達成状況

◎：達成

〇：一部未達成、達成に向け進行中

△：課題や遅れあり

×：多くが未着手

●「取り組み課題・今後の方向性」

具体的な取り組みにおける達成状況等を踏まえた課題や今後の方向性

●施策シートの見方

施策シート【01_01】ー 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

実行計画の進捗を測る指標を記載しています。実績をもとに毎年度、検証・評価しながら進行管理を行います。また、具体的な取り組みの見直し等に伴い、必要に応じて実行計画の見直しを行います。

施策名称	防災体制の強化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方市備蓄目標量（重要物資備蓄品の備蓄量）達成率	（アルファ化米と毛布の備蓄量）／（備蓄目標量）	100	100	100	100	%	危機管理対策推進課	-
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 大阪府及び府下市町村で構成する協議体で定められている備蓄すべき物資は確実に備蓄できている。								
【施策指標の分析 R7】 大阪府及び府下市町村で構成する協議体で定められている備蓄すべき物資は確実に備蓄し、消費期限の管理もできている。								
広域避難ルールの策定校区数	避難所が浸水想定区域内に位置している15校区のうち、広域避難ルールを策定済みの校区数（累計）	8	10	12	15	校区	危機管理対策推進課	3．広域避難訓練の推進
各年度の実績		7	7			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 新たに長尾校区において策定することができた。広域避難は避難する側と避難者を受ける側双方の合意が必要なため策定は容易ではないが、引き続き校区への働きかけを続けていく。								
【施策指標の分析 R7】 新たな広域避難ルールを策定した校区はなかった。引き続き、広域避難が必要な校区への働きかけを続けていく。								

【施策指標の実績】

●各年度の実績

各年度の目標に対する令和7年3月末時点実績

●施策指標の分析

指標の実績を踏まえた要因や今後の見込み、方向性

＜　施策シート　＞

施策シート【01_01】

危機管理部、健康福祉部

施策名称	**防災体制の強化**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要	大規模災害の発生に備え、市の防災体制の強化を図る。	

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．備蓄品管理の効率化 ○備蓄・物流管理システム導入 2．新庁舎の防災拠点機能の検討 3．広域避難訓練の推進 4．家具固定器具の購入・設置支援 5．枚方消防署の更新に向けた取り組み 6．地域防災力の向上 7．災害時要配慮者の避難支援	4．家具固定器具の購入・設置支援 ○家具固定器具の補助及び設置支援開始 8．指定福祉避難所の設置	4．家具固定器具等の購入補助（自助促進事業） ○購入補助実施	5．枚方消防署の更新に向けた取り組み ○事業支援委託（DB方式の場合）

施策シート【01_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

１．備蓄品管理の効率化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
備蓄品管理台帳のデジタル化として、備蓄・物流管理システムを導入・運用。	・備蓄・物流管理システム導入 ・図上訓練での活用	継続	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
円滑にシステムを利用できるようにマニュアルの改定や職員研修、訓練での活用など活用機会の増加を目指していく必要がある。	備蓄・物資管理システムを導入し、図上訓練においても活用した。	備蓄・物資管理システムの操作研修を行い、図上訓練など訓練で活用した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

２．新庁舎の防災拠点機能の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新庁舎建設にむけて大規模災害時の防災拠点（災害対策本部）としての機能を検討。	・必要機能の精査 （施設機能、本部機能、最適なレイアウト） ・先進事例の把握	継続	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き防災拠点としての機能の向上に向けた調査・検討を行っていく必要がある。	新庁舎ワーキングチームでは、各機能の精査や先進地視察等を行った。	先進事例の視察を行い、新庁舎ワーキングチームで、防災機能について検討した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

３．広域避難訓練の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
広域避難ルールの策定と訓練の実施。	広域避難ルールの策定と訓練の実施	継続	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
対象校区にルールの策定を働きかけるとともに、策定済みの校区に対しては、校区内訓練や総合防災訓練への参加などを呼びかけ、訓練を通じて防災・減災への取り組みを推進させていく。	長尾校区における広域避難のルール策定と訓練を実施した。	新たなルール策定はなかったが、対象校区における施設見学が実施された。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【01_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

４．家具固定器具等の購入補助（自助促進事業）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
全市民を対象に、家具固定器具等の購入補助事業を実施。 （R8～R10）	支援制度の構築（実施手法の精査）	避難行動要支援者を対象にアンケート調査を実施することにより、効果的な実施手法を検討	購入補助 実施	購入補助 実施	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和8年度実施予定。	令和７年度にアンケートを実施し、手法の再検討を行う方針を決定した。	アンケート調査によりニーズ把握をしたうえで、令和８年度からの購入補助実施に向け取り組んだ。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

５．枚方消防署の更新に向けた取り組み

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方消防署の移転・建て替えの実施。	・地元協議【市・消防組合】 ・アドバイザリー契約に向けた仕様精査【市・消防組合】	・アドバイザリー契約締結【消防組合】 ・機能精査、発注仕様書精査【市・消防組合】	・「枚方消防署新庁舎整備基本計画の策定」、「枚方消防署新庁舎整備に係る民間活力導入可能性調査」を委託により実施（枚方寝屋川消防組合）	・事業支援委託 （DB方式の場合）	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
旧中宮北小学校跡地を候補地案として選定し、優先して検討することとした。（枚方市） 今後、枚方消防庁舎の整備に向け、基本計画の策定などに取り組んでいく。（枚方寝屋川消防組合）	地元校区コミュニティへの説明を実施した。	地元校区コミュニティ協議会への説明を実施し、発注に向けた仕様書精査を行った。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

６．地域防災力の向上

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
消防団と自主防災組織役員とのコミュニケーションを取る機会を設ける。	地域との連携を深めるため、自主防災組織ネットワーク会議に団長などが出席。	継続	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
地域住民と接する機会を増やし、災害発生時の救助活動や避難所運営支援など、地域に根付いた組織を目指した活動を進めていく。	自主防災組織ネットワーク会議へ副団長以上の幹部が出席し、地域との連携を深めた。	校区自主防災会の訓練参加や、自主防災組織ネットワーク会議へ副団長以上の幹部が出席し、地域との連携を深めた。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

７．災害時要配慮者の避難支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害時に活動するボランティアを募り必要な研修等を実施するとともに、避難支援者等として多くの市民の協力が得られるよう、地域住民等を対象とした研修や講習会を実施。	・災害ボランティアの募集・研修 ・地域での活動の支援を拡充。	継続	継続	継続	健康福祉政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
災害発生時に災害ボランティアセンターの設置・運営や災害ボランティア活動が円滑に実施することができるように、市民を対象とした周知・啓発活動に取り組む。	市民や団体を対象にした出前講座を実施したほか、現任の災害ボランティアを対象にした研修や災害ボランティアシミュレーション訓練を開催した。（参加人数　522人）	市民講座や出前講座を継続して実施した。（参加人数436人）災害ボランティア登録者の研修及び市民講座として開催した「いつか来る”その時”に備える」には86名の方が参加され、年度中に新たに19名が災害ボランティア登録をされた。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

8. 指定福祉避難所の設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害時の避難生活において、特別の配慮が必要な方に適切に対処するため、直接避難に対応できる福祉避難所の指定に取り組む。	－	福祉避難所の指定及び要配慮者に適した備蓄物資・機材の整備にかかる補助金の交付	継続	継続	健康福祉政策課、障害支援課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き直接避難型指定福祉避難所の指定促進に努めるとともに、実際の福祉避難所運営に向けたマニュアル策定に取り組む。	－	直接避難型指定福祉避難所の制度構築を行い、高齢者施設４施設、障害者施設３施設を指定。うち、申請のあった６施設へ補助金交付を行った。			
年度ごとの達成状況		○			

施策シート【01_01】ー 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方市備蓄目標量（重要物資備蓄品の備蓄量）達成率	（アルファ化米と毛布の備蓄量）／（備蓄目標量）	100	100	100	100	%	危機管理対策推進課	-
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 大阪府及び府下市町村で構成する協議体で定められている備蓄すべき物資は確実に備蓄できている。								
【施策指標の分析 R7】 大阪府及び府下市町村で構成する協議体で定められている備蓄すべき物資は確実に備蓄し、消費期限の管理もできている。								

施策シート【01_01】ー 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
広域避難ルールの策定校区数	避難所が浸水想定区域内に位置している15校区のうち、広域避難ルールを策定済みの校区数（累計）	8	10	12	15	校区	危機管理対策推進課	3．広域避難訓練の推進
各年度の実績		7	7			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 新たに長尾校区において策定することができた。広域避難は避難する側と避難者を受ける側双方の合意が必要なため策定は容易ではないが、引き続き校区への働きかけを続けていく。								
【施策指標の分析 R7】 新たな広域避難ルールを策定した校区はなかった。引き続き、広域避難が必要な校区への働きかけを続けていく。								
広域避難（洪水時における避難）に関する訓練の実施校区数	広域避難（洪水時における避難）に関する訓練を実施した校区数（累計）	5	7	7	8	校区	危機管理対策推進課	3．広域避難訓練の推進
各年度の実績		7	7			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 防災訓練で伊加賀・枚方の２校区に対し広域避難訓練を実施した。役員等による事前訓練を含めると４回の実施となる。								
【施策指標の分析 R7】 殿二・牧野・招堤・西牧野・平野・小倉校区で災害時１次避難所として利用する大阪歯科大学牧野学舎の施設見学を実施した。								

施策シート【01_01】－ 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
購入補助した世帯（自助の取り組み実施件数）	購入補助した世帯（自助の取り組み実施件数）	－	－	5,700	5,700	世帯	危機管理対策推進課	４．家具固定器具の購入・設置支援
各年度の実績		－	－			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和8年度実施予定。								
【施策指標の分析 R7】 令和8年度からの事業開始に向けた準備を行った。								

施策シート【01_01】ー 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
消防団員の訓練や啓発活動の従事人数	消防団員の訓練や啓発活動の従事人数（自主防災訓練への参加含む）	7,350	7,400	7,450	7,500	人	危機管理対策推進課	6．地域防災力の向上
各年度の実績		5,333	5,886			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 自主防災組織が各校区で開催している防災訓練に依頼を受けて参加するとともに、毎月の定期訓練や啓発活動へも参加した。								
【施策指標の分析 R7】 自主防災組織が各校区で開催している防災訓練に依頼を受けて参加するとともに、毎月の定期訓練や啓発活動へも参加した。								

施策シート【01_01】ー 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
登録災害ボランティア人数	枚方市ボランティアセンターに登録されている災害ボランティアの人数（毎年度末時点）	60	65	80	85	人	健康福祉政策課	7．要配慮者の避難支援
各年度の実績		60	79			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 講座や研修などを重点的に実施したことで、指標目標以上の参加者となった。今後も継続して取り組みを進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 市民講座にて災害ボランティアの必要性について理解いただくことができ、指数目標以上の実績となった。								

施策シート【01_01】－ 施策指標

危機管理部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	防災体制の強化

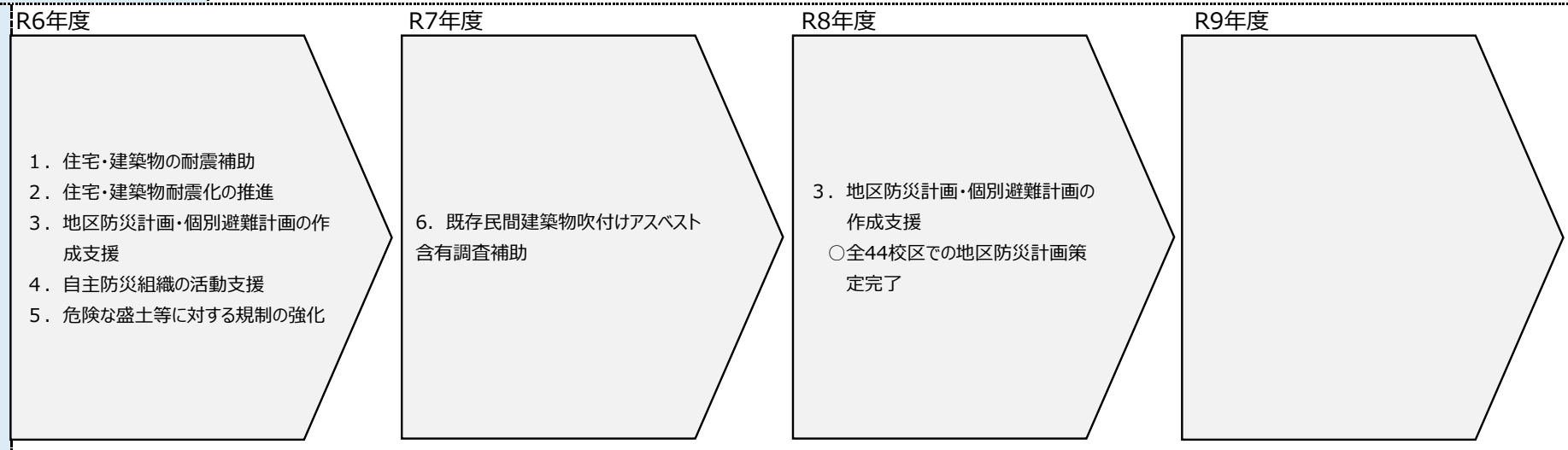
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
直接避難型福祉避難所指定件数	直接避難型の福祉避難所として指定した件数	－	20	10	10	施設	健康福祉政策課、障害支援課	8．指定福祉避難所の設置
各年度の実績		－	7			施設	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 目標値を下回る結果となったが、今後も継続して指定促進に取り組む。								

施策シート【01_02】

危機管理部、都市整備部

施策名称	**防災意識の向上**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要		市民の防災意識の啓発や建築物の耐震化の促進など、地域防災力の向上を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【01_02】ー 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

１．住宅・建築物の耐震補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
旧耐震基準の住宅・建築物に対する各種耐震補助の実施。	補助制度の運用	継続	「住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪」に基づく補助制度の見直し	枚方市住宅・建築物耐震改修促進計画（第Ⅱ期）にかわる、耐震化の促進計画による新制度の運用開始	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・耐震診断を行った物件に対する改修工事の実施促進や、耐震化に対する関心が低い所有者への意識啓発が必要。	・昨年度と比較して、各補助メニューの申請件数を伸ばす事が出来た。（累計850件）	・継続して各補助メニューの申請件数を伸ばす事が出来た。（累計910件）			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_02】ー 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

２．住宅・建築物耐震化の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
旧耐震基準の住宅・建築物に対する各種耐震化の必要性と各種耐震補助制度の周知・啓発。	各種防災イベントへの参加、出前講座の実施	継続	継続	継続	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・継続的な周知・啓発と共に、耐震化が進んでいない地域に対して、さらに効果的な啓発を進めていく。	・出前講座は実施する事が出来なかったが、新規手法として市公式LINE・YouTubeを活用した新たな周知・啓発を行った。	・出前講座やイベント出展において、耐震シェルター模型を展示するなど、新たな手法で周知・啓発を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

３．地区防災計画・個別避難計画の作成支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地区防災計画の策定支援及び個別避難計画の作成支援を実施。	・地区防災計画の策定（８校区） ・個別避難計画の作成支援（1自治会）	・地区防災計画の策定（８校区） ・個別避難計画作成支援開始（セルフプラン方式）	・地区防災計画の策定（1校区） ・個別避難計画作成の継続	・地区防災計画の策定の継続（自治会）と更新 ・個別避難計画作成の継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き校区や自治会が地域の特性に応じた計画を策定できるような取り組みを推進していく。	・地区防災計画の策定：11校区 ・個別避難計画の作成支援：１自治会	・地区防災計画の策定：２校区、１自治会。 ・セルフプラン方式で個別避難計画の作成を推進するため全対象者へ計画を送付した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

４．自主防災組織の活動支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
校区自主防災組織よる資機材設置訓練や避難所開設訓練（訓練準備）の実施を引き続き支援。 地域の防災ルール（地区防災計画など）作成・改善の支援。	自主防災訓練結果をフィードバックし、マニュアルや地区防災計画を策定又は改善	継続	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き学校や校区と協議を重ね、避難所開設訓練や地区防災計画の改善の支援に取り組んでいく。	地区防災訓練の作成支援と避難所運営マニュアルのひな型の改定を行った。	校区自主防災組織が行う訓練の支援と地区防災計画の作成支援を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_02】ー 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

５．危険な盛土等に対する規制の強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害時における崖崩れや土砂の流出を未然に防止するため、宅地造成及び特定盛土等規制法に基づき規制を強化。	・市全域を規制区域に指定 ・法に基づく許可・検査業務等の実施 ・既存盛土の応急対策の必要性判断等の調査実施	・法に基づく許可・検査業務等の実施	継続	継続	審査指導課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
法に基づく許可・検査業務等の実施	令和6年4月1日に市全域を規制区域に指定し、また、法に基づく基礎調査を実施し、市内の既存盛土の分布状況等の把握を行った。	・法12条許可件数：17件 ・法17条完了検査件数：17件			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

6. 既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
吹付けアスベストが施工されているおそれがある建築物の所有者が実施する分析調査に対し、国が事業費を補助。	－	既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助制度の運用	継続	継続	審査指導課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
効果的な啓発手法を検討し制度の普及に努める必要がある。	補助制度を創設した。	活用実績なし			
年度ごとの達成状況	◎	△			

施策シート【01_02】ー 施策指標

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数（累計）	「枚方市木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱」に基づく木造住宅耐震改修補助等により改修・除却（解体）した件数（累計）	850	900	950	1000	件	住宅まちづくり課	1．住宅・建築物の耐震補助 2．住宅・建築物耐震化の推進
各年度の実績		850	910			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 補助要件の緩和に加え、年初の震災により申請件数が増加した結果、目標を達成できた。								
【施策指標の分析 R7】 耐震補助金の予算範囲内で、各補助メニュー間の調整を行う運用に変更したことによる補助件数の増加や、例年の周知啓発に加え、デジタルサイネージやバス車内広告の掲示を実施したことにより、目標以上の達成となった。								
耐震化に関する所有者への周知啓発件数	耐震化が進んでいない地域へのアンケートの発送数及び耐震診断後のフォローアップのDM数の合計	500	500	750	750	件	住宅まちづくり課	1．住宅・建築物の耐震補助 2．住宅・建築物耐震化の推進
各年度の実績		967	526			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 例年の周知啓発に加え、補助要件緩和による再度のフォローアップを実施したことにより目標以上の達成となった。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度の耐震診断補助件数の増加に伴い、診断後のフォローアップのDMが増えたため、目標以上の達成となった。								

施策シート【01_02】－ 施策指標

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地区防災計画の策定件数	市の地域防災計画に掲載した地区防災計画数（校区自主防災組織、自治会などが作成）	地区防災計画策定校区数（累計）35	地区防災計画策定校区数（累計）43	地区防災計画策定校区数（累計）44	地区防災計画策定校区数（累計）44	校区	危機管理対策推進課	３．地区防災計画・個別避難計画の作成支援
各年度の実績		34	36			校区	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度は全体版（10校区０自治会）、届出避難所版（３自治会）、広域避難版（１校区）の合計11校区、３自治会にて策定。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度は全体版（２校区０自治会）、届出避難所版（１自治会）合計２校区、１自治会にて策定。								
個別避難計画の作成件数（自治会）	個別避難計画の作成に至った自治会数	個別避難計画作成自治会数（累計）3	個別避難計画作成自治会数（累計）4	個別避難計画作成自治会数（累計）5	個別避難計画作成自治会数（累計）6	自治会	危機管理対策推進課	３．地区防災計画・個別避難計画の作成支援
各年度の実績		2	2			自治会	備考	
【施策指標の分析 R6】 １自治会（西船橋自治会）策定でR6の目標値（1自治会）は達成。 （※西船橋自治会内で３件策定）								
【施策指標の分析 R7】 自治会主体での個別避難計画作成には支援者や支援方法など課題が多いため、令和７年度からセルフプラン方式による計画作成を導入し並行して計画作成を推進している。								
個別避難計画の作成件数（セルフプラン方式）	セルフプラン方式により個別避難計画の作成に至った件数（累計）	－	4,800	4,820	4,840	件	危機管理対策推進課	３．地区防災計画・個別避難計画の作成支援
各年度の実績		－	3,233			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和7年度の事業開始に向けた準備を行った。								
【施策指標の分析 R7】 個別避難計画の作成を推進するため、対象者へ計画を送付した。								

施策シート【01_02】ー 施策指標

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
自主防災組織による訓練実施回数	自主防災組織が実施した訓練の総回数	42	42	44	44	回	危機管理対策推進課	4．自主防災組織の活動支援
各年度の実績		43	49			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 ほぼ予想どおりの結果となった。引き続き訓練実施に向けた打ち合わせ等の支援に努めていく。								
【施策指標の分析 R7】 自主防災訓練回数が伸びた。引き続き訓練実施に向け支援に努めていく。								

施策シート【01_02】－ 施策指標

危機管理部、都市整備部

施策名称	防災意識の向上

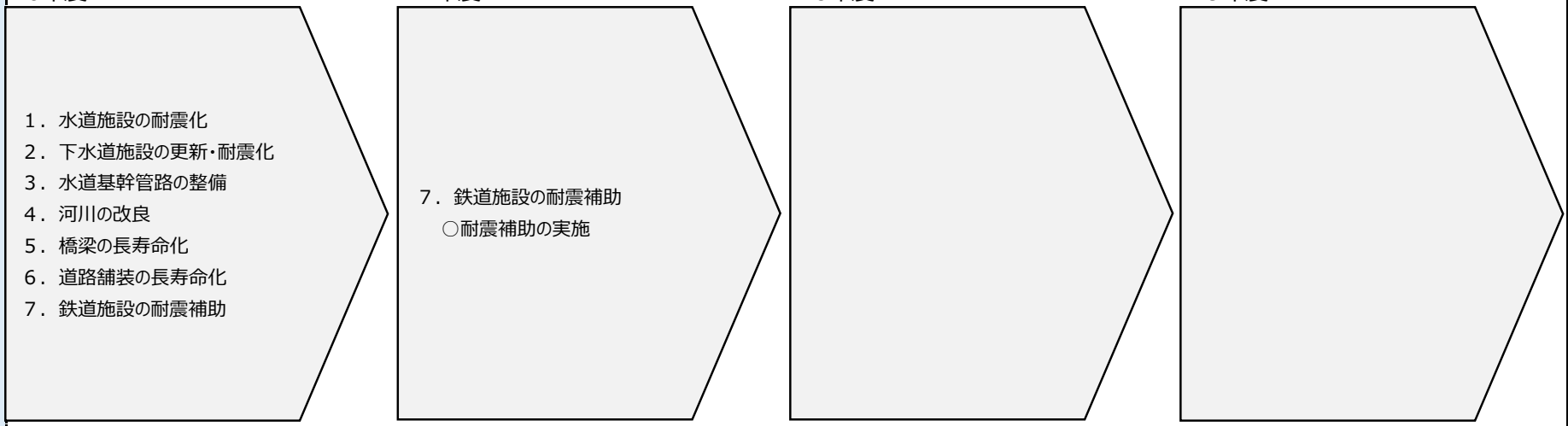
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
吹付けアスベスト含有調査補助制度を活用し、分析調査を実施した件数（累計）	「枚方市既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助金交付要綱」に基づき、吹付けアスベストの分析調査を実施した件数	－	2	4	6	件	審査指導課	6．既存民間建築物吹付けアスベスト含有調査補助
各年度の実績		－	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度実績なし（令和7年度から事業開始）								
【施策指標の分析 R7】 補助制度についての相談があったものの、補助要件に該当せずに目標に未達。次年度は、情報提供の充実に努める。								

施策シート【01_03】

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	**都市基盤の計画的な維持管理**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要	道路、橋梁、上下水道などの都市基盤を計画的に維持管理し、災害に強いまちづくりを進める。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

１．水道施設の耐震化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
増大する老朽化施設や、発生が予想される大地震等への対応のため、「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、水道施設の更新・耐震化を推進。	主な事業箇所 ・中宮浄水場更新耐震化 ・妙見山配水池更新耐震化 ・送配水管更新耐震化(中宮浄水場～春日受水場他)	継続	継続	主な事業箇所 ・磯島取水場関連更新耐震化 継続	浄水課 上水道工務課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、水道施設の更新・耐震化に取り組む。 引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、管路の更新・耐震化を行い安定した水道水の供給に取り組む。	中宮浄水場更新耐震化工事の実施、妙見山配水池更新基本設計委託の契約を締結した。 送配水管更新耐震化工事を実施し、中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を発注した。	中宮浄水場更新耐震化工事の実施、妙見山配水池更新基本設計委託が完了した。 東香里高架水槽及び楠葉配水場高架水槽のブースターポンプ化により耐震化に取り組んだ。 引き続き中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

２．下水道施設の更新・耐震化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
増大する老朽化施設や、発生が予想される大地震等への対応のため、「枚方市下水道整備基本計画」に基づき、下水道施設の更新・耐震化を推進。	主な事業箇所 ・溝谷川ポンプ場受変電設備更新 ・サダポンプ場ポンプ棟耐震化	主な事業箇所 ・サダポンプ場受変電設備更新 ・黒田川ポンプ場ポンプ棟耐震化	主な事業箇所 ・黒田川ポンプ場電気設備更新	ポンプ場設備更新	上下水道政策課、下水道整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
雨水ポンプ場の特性により、雨季での施工が困難な事業や、更新と耐震化の施工箇所が重複するなどの課題があり、効率的な取り組みが必要となる。	令和６年度予定の雨水ポンプ場に係る更新・耐震化については、一部繰越が生じたが、概ね達成することができた。	令和７年度予定の雨水ポンプ場に係る更新・耐震化については、一部繰越が生じたが、概ね達成することができた。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

３．水道基幹管路の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
基幹管路の送水管を更新。	中宮浄水場から春日受水場間の送水管更新	継続	継続	継続	上水道工務課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き「枚方市水道施設整備基本計画」に基づき、管路の更新・耐震化を行い安定した水道水の供給に取り組む 。	中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を発注した。	引き続き中宮浄水場～春日受水場間送水管更新工事を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_03】ー 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

４．河川の改良

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市準用河川（穂谷川・宗谷川）整備基本計画を策定し、計画的に河道改修や護岸工事などの整備事業を推進。	河道改修や護岸工事などの整備順序や事業化の時期を検討し、事業化の時期が決まり次第、事業を推進	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後、河道改修や護岸工事などの整備順序や事業化の時期を検討し、事業化の時期が決まり次第、事業を推進する。	事業化の時期の検討	事業化の時期の検討			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【01_03】ー 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

５．橋梁の長寿命化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
橋梁の修繕補強工事を実施。	無名58号橋、無名176号橋、無名169号橋	越前林高架橋	無名105号橋、西禁野橋、無名99号橋	無名235号橋、無名91号橋、無名212号橋、無名224号橋	道路河川管理課、道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、国の交付金を積極的に活用し、計画的な修繕補強工事を実施する。	無名58号橋、無名176号橋、無名169号橋	施工内容、施工方法及び施工時期について庁内協議を実施			庁内協議により、R7年度より1年遅れて施工
年度ごとの達成状況	◎	△			

施策シート【01_03】ー 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

６．道路舗装の長寿命化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
道路の大規模修繕、改築までのライフサイクルを延長し、コストの平準化を図る。計画更新、計画対象路線の拡充。	・予防保全型補修工事 ・次年度へ向けた詳細設計委託	継続	継続	継続	道路河川補修課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・主要道路リフレッシュ整備事業との計画共有を図り、また更なる計画的な予防保全型の維持補修を推進するため、計画対象路線を拡充し、効率的な維持管理を行う。	・予防保全型補修工事 ・詳細設計委託 ・計画対象路線の追加	・予防保全型補修工事 ・詳細設計委託			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理				

７．鉄道施設の耐震補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
列車の安全・安定輸送、鉄道利用者の安全確保等を図るため、鉄道施設の耐震補強事業に要する経費の一部を補助。	－	枚方市駅～御殿山駅間の高架橋の耐震補強（3箇所）	－	－	都市計画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和６年度に制定した補助金交付要領に基づき、国・大阪府と協調して鉄道事業者が実施する鉄道施設の耐震補強事業費の一部を補助することで、鉄道施設の耐震補強事業を推進する。	枚方市鉄道施設耐震補強事業費補助金交付要領の制定	枚方市駅～御殿山駅間の高架橋の耐震補強工事（3箇所）について補助金を交付			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【01_03】－ 施策指標

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
浄水施設の耐震化率	（耐震対策の施された浄水施設能力／全浄水施設能力）	0	0	0	84.6	%	浄水課	1．水道施設の耐震化
各年度の実績		0	0			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和9年度の工事完成をめざし、膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んでいるため、令和6年度末の浄水施設の耐震化率は０％である。								
【施策指標の分析 R7】 令和9年度の工事完成をめざし、膜ろ過棟・前処理施設の築造に取り組んでいるため、令和6年度末の浄水施設の耐震化率は０％である。								
配水池の耐震化率	（耐震対策の施された配水池有効容量／配水池有効容量） (R12年度：79.4%予定)	71.3	71.3	71.4	71.4	%	浄水課	1．水道施設の耐震化
各年度の実績		71.3	71.4			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和12年度の工事完成をめざし、妙見山配水池の更新・耐震化の基本設計に取り組んでいるため、令和6年度末の配水池の耐震化率は71.3%である。								
【施策指標の分析 R7】 令和12年度の工事完成をめざし、妙見山配水池の更新・耐震化の基本設計に取り組んでいる。また、東香里高架水槽及び楠葉配水場高架水槽のブースターポンプ化により耐震化率は71.4%である。								
管路の耐震化率	（耐震管の延長/管路の総延長）	29.5	30.3	30.6	31.1	%	上水道工務課	1．水道施設の耐震化
各年度の実績		29.9	30.5			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となったものの、指標については目標通り達成できた。								
【施策指標の分析 R7】 他企業と競合する一部事業については、事業間調整により次年度繰越となったものの、指標については目標通り達成できた。								

施策シート【01_03】－ 施策指標

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ポンプ場の耐震化率	（耐震性を有する施設数/ポンプ場内施設数（77施設※）） ※雨水ポンプ場11施設、汚水ポンプ場２施設、計13ポンプ場内の施設数	33.8	44.2	55.8	70.1	%	上下水道政策課、下水道整備課	２．下水道施設の更新・耐震化
各年度の実績		39.0	42.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 ポンプ棟の耐震化工事（3施設）や耐震診断結果（6施設）により、耐震性を有する施設が増加した。（30施設/77施設）								
【施策指標の分析 R7】 ポンプ棟の耐震化工事（3施設）により、耐震性を有する施設が増加した。（33施設/77施設）								

施策シート【01_03】－ 施策指標

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
大規模断水を伴う管路事故件数	管路事故件数（断減水の影響が100戸を超えるもの）	0	0	0	0	件	上水道工務課	3．水道基幹管路の整備
各年度の実績		0	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 指標の達成度については、目標通りであった。基幹管路工事発注手続きについては、予定通り事業の発注を行うことができた。								
【施策指標の分析 R7】 指標の達成度については、目標通りであった。基幹管路工事については、予定通り事業を行うことができた。								

施策シート【01_03】ー 施策指標

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
橋梁長寿命化計画における修繕率	橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備済橋梁数／計画における整備予定橋梁数	46	49	57	68	%	道路河川管理課、道路河川整備課	5．橋梁の長寿命化
各年度の実績		46	46			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和6年度は、3橋の修繕工事を実施した。							庁内協議により、R7年度より1年遅れて施工	
【施策指標の分析 R7】 枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和7年度は、庁内協議により工程調整を行い、工事実施時期を令和8年度に変更したことから、令和7年度の修繕率が目標値に届いていない。								

施策シート【01_03】－ 施策指標

都市整備部、土木部、上下水道部

施策名称	都市基盤の計画的な維持管理

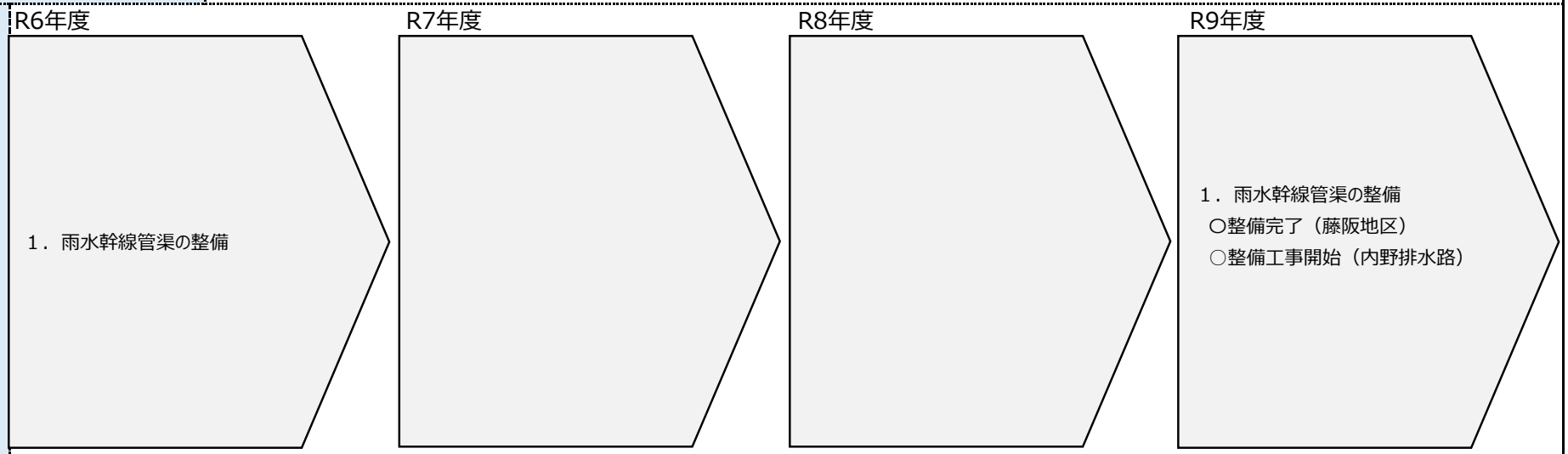
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
舗装長寿命化計画における補修延長距離	舗装補修を実施した年間補修延長距離	2,500	2,500	2,500	2,500	m	道路河川補修課	6．道路舗装の長寿命化
各年度の実績		3,389	3,813			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 予防保全型補修について計画通りに進めた。今後も引き続き実施していく。								
【施策指標の分析 R7】 予防保全型補修について計画通りに進めた。今後も引き続き実施していく。								

施策シート【01－04】

上下水道部

施策名称	**浸水被害の軽減**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	1.災害に対する備えができているまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要		公共下水道の雨水排水施設の計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【01－04】－ 具体的な取り組み

上下水道部

施策名称	浸水被害の軽減

１．雨水幹線管渠の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
下水道事業計画に基づく雨水幹線管渠を整備 ①藤阪元町地区 ②内野排水路	①整備に向けた支障物件の移設及び事業用地取得 ②基礎検討	①主要な雨水幹線管渠の整備、これに伴う支障物件の移設及び事業用地取得 ②基本設計委託	①継続 ②実施設計委託	①整備完了 ②整備工事	上下水道政策課、下水道整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
①狭隘な生活道路での施工となり、地域の方々のご理解・協力を得ながら、令和９年度の事業完成に向け取り組む。 ②基礎検討を踏まえ、基本設計委託により整備の方向性を明確にする。	①工事に先立ち、ガス、水道、NTTの支障物件の移設工事を行った。 ②基礎検討を実施した。	①主要な雨水幹線管渠の整備及びそれに伴う支障物件の移設に着手した。 ②基本設計委託を発注した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【01－04】－ 施策指標

上下水道部

施策名称	浸水被害の軽減

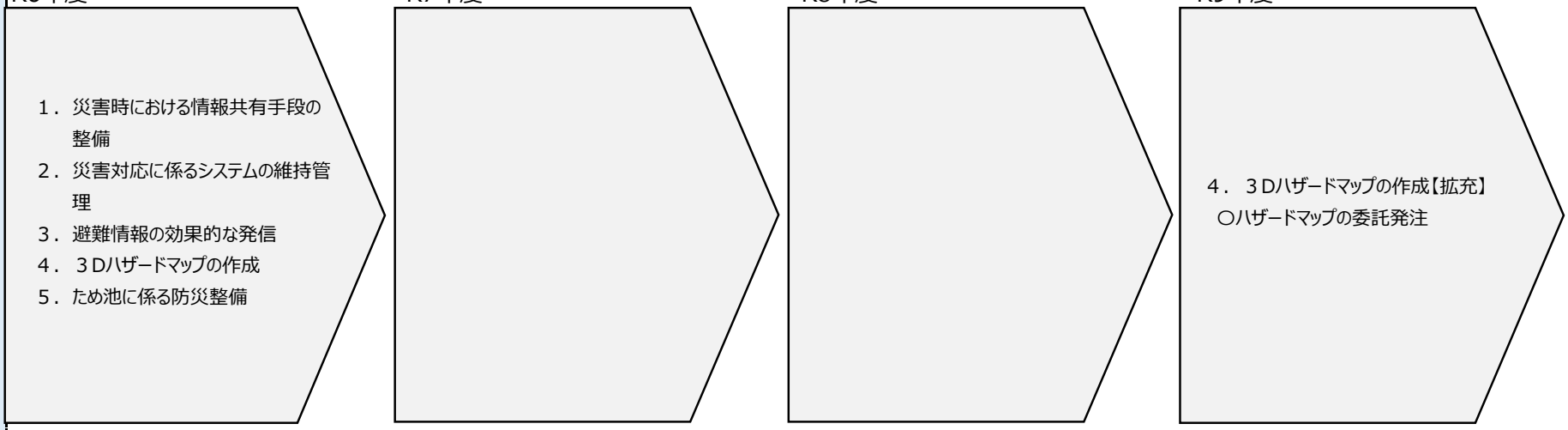
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
主要な雨水幹線管渠の整備率	主要な雨水幹線管渠の整備延長距離／計画延長距離	46.3	46.3	46.3	46.5	%	上下水道政策課、下水道整備課	1．雨水幹線管渠の整備
各年度の実績		46.3	46.3			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 指標の上昇はないものの、藤阪元町地区の整備が完了する令和９年度に向けて取り組みを進めている。								
【施策指標の分析 R7】 指標の上昇はないものの、藤阪元町地区の整備が完了する令和９年度に向けて取り組みを進めている。								

施策シート【02_01】

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	**災害情報の迅速かつ正確な提供**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち
めざす姿（主観的満足度）		防災体制が整っている
概要	緊急情報をさまざまな情報発信手段を活用しながら、迅速かつ正確に地域に提供する体制を整える。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【02_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

１．災害時における情報共有手段の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
災害等発生時に、庁内関係部署や警察、消防・そのほか関係機関と情報の共有を行い、連携を図るため、庁内等における情報共有手段の整備、維持	・他機関との継続的な通信訓練 ・現行デジタルMCA無線に代わる庁内情報伝達手段（令和11年5月末で現サービスが終了）の整備に向けた調査（その他デジタルMCA無線の後継機種かIP無線を導入すべきか等の判断資料の収集等）	・他機関との継続的な通信訓練 ・新たな情報伝達手段の選定に向けた情報収集及び整備箇所の精査 ・国による新サービスに関する補助等の情報収集	・他機関との継続的な通信訓練 ・新たな情報伝達手段の選定及び整備計画の策定	・他機関との継続的な通信訓練 ・新たな情報伝達手段の一部整備または試行導入に向けた配備先及び台数等の精査	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
市組織の非常時の情報伝達手段として整備するデジタルMCA無線について、令和11年5月末のサービス終了をもって使用できなくなることから、その他の非常時情報伝達手段の導入を検討する必要がある。	定期的な通信訓練のほか、デジタルMCA無線に代わる市組織間の非常時情報伝達手段について情報収集を行った。	定期的な通信訓練のほか、デジタルMCA無線に代わる市組織間の非常時情報伝達手段や国の動向について情報収集を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【02_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

２．災害対応に係るシステムの維持管理

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①防災行政無線システム（同報系・地域防災系）の保守 ②気象情報システム計測震度計等の保守	既存システムの適切な保守	継続	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
各種システムの保守を行い、災害時に適切に使用できる環境を維持した。	定期的な運用保守を実施した。	定期的な運用保守を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【02_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

３．避難情報の効果的な発信

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
自動音声配信電話サービスの普及、災害情報を広く効果的に伝達するため、デジタルサイネージなどを活用した情報の発信	情報伝達手段の追加を検討	情報伝達手段の追加	継続	継続	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
自動音声配信電話の要件を満たす方が広く市内に散らばっているため、引き続き制度案内を行っていく必要がある。	災害時の情報伝達手段の追加を検討した。	災害時の情報伝達手段として各避難所看板に枚方市危機管理ポータルサイトにリンクできるQRコードを貼り付ける検討を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【02_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

４．３Dハザードマップの作成

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
視覚的にわかりやすい３Dハザードマップの作成	他市事例などの情報を収集	本市で実現可能な3Dハザードマップの方式を精査	仕様の精査	ハザードマップの全戸配布と併せて委託発注	危機管理対策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
防災ガイドの全戸配布に向け、直感的に災害リスクが把握できる3Dマップの導入を検討しているが、市民が誰でも閲覧できる環境にするにはコストが掛かるため、閲覧方法の検討が必要。	複数の3Dモデルを浸水リスクに重ね合わせる方法の検討を実施した。	複数の3Dモデルを浸水リスクに重ね合わせる方法として、グーグルアースで閲覧できる仕組みを検討した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【02_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

５．ため池に係る防災整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
避難基準の策定に必要な議論や情報収集等の実施、避難基準の策定に向けた資料の素案作成、歩行困難度や家屋倒壊危険度の検討、公表	ため池ハザードマップの改定	避難基準の策定と周知・啓発（ため池ハザードマップ含む）	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
ハザードマップや避難基準を災害時の避難行動に役立てることが必要。ハザードマップ、避難基準については、危機管理部と協議しながら、公表し、周知を図る。	16池でため池ハザードマップを改定し、新たに1池のマップを作成した。	ため池ハザードマップの改定後、広報ひらかたでの周知や各ため池管理者への説明を行った。また、防災ガイドへの掲載に向けて危機管理部と調整を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【02_01】－ 施策指標

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
災害時に遅滞なく市民へ情報伝達できた割合	（エリアメール・緊急速報メール発信回数／避難情報発令回数）＋（自動音声配信サービス発信回数／避難情報発令件数）｝／2	100	100	100	100	%	危機管理対策推進課	2．災害対応に係るシステムの維持管理
各年度の実績		－	－			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 避難指示等の発令を必要とする災害は発生しなかった。								
【施策指標の分析 R7】 避難指示等の発令を必要とする災害は発生しなかった。								

施策シート【02_01】ー 施策指標

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
自動音声配信電話サービスへの登録者数	自動音声配信電話サービスへの登録者数	90	100	110	120	人	危機管理対策推進課	3．避難情報の効果的な発信
各年度の実績		80	81			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 イベント等でパンフレットを配布して制度周知に努めた。								
【施策指標の分析 R7】 イベント等でのパンフレットの配布や出前講座での説明で制度周知に努めた。								

施策シート【02_01】ー 施策指標

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
情報伝達手段の整備件数	既存の情報伝達手段は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、防災行政無線電話応答サービス、ホームページ、エリアメール・緊急速報メール、SNS（LINE、X）、自動音声配信電話サービス、Vacanの合計10種。	10	11	11	11	件	危機管理対策推進課	２．災害対応に係るシステムの維持管理 ３．避難情報の効果的な発信
各年度の実績		10	10			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 目標数値には達しているが、新たな導入に向け効果的な手段を検討中。								
【施策指標の分析 R7】 新たな導入に向け効果的な手段を検討を進めた。								

施策シート【02_01】ー 施策指標

危機管理部、観光にぎわい部

施策名称	災害情報の迅速かつ正確な提供

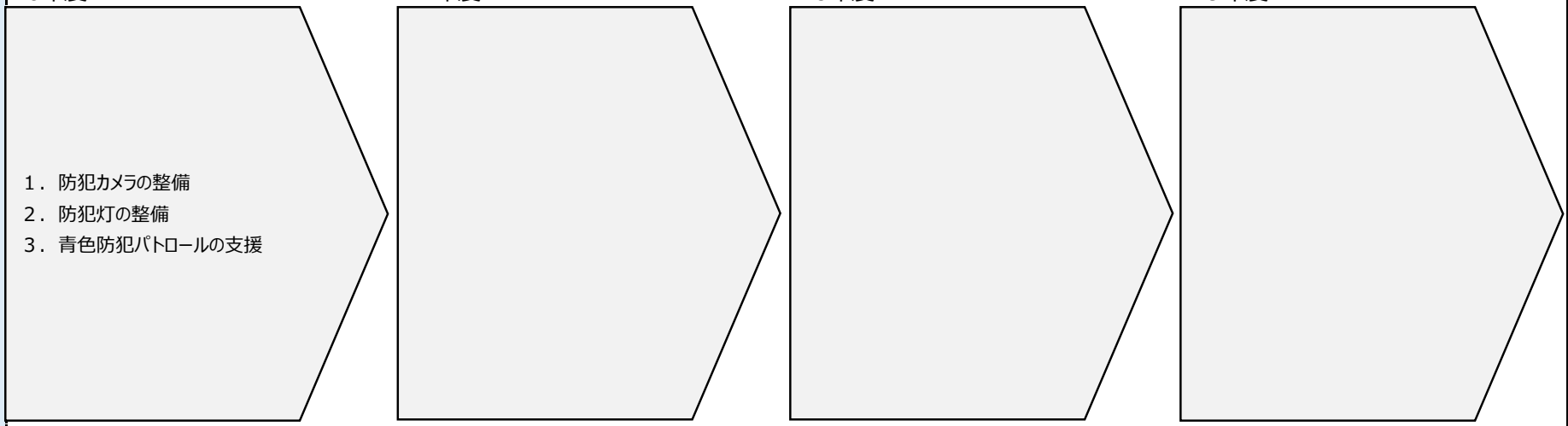
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
避難情報を認知している市民の割合	（避難情報を認知している市民）／（アンケート回答者数）	80	85	85	90	%	危機管理対策推進課	３．避難情報の効果的な発信
各年度の実績		76	66			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 スマホアンケートにより把握。								
【施策指標の分析 R7】 スマホアンケートにより把握。								

施策シート【03_01】

危機管理部

施策名称	**防犯体制の整備**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	3.暮らしに身近な安全が確保されたまち
めざす姿（主観的満足度）		防犯体制が整い、身近な安全が確保されている
概要		警察や地域との連携を強化しながら、防犯体制の整備を進めるとともに、地域の防犯意識を高める。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【03_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部

施策名称	防犯体制の整備

１．防犯カメラの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
防犯カメラ各賃貸借契約満了に伴う更新時の増設に向けた調整等の実施	既設の354台の更新の契約手続き（増設にかかる台数及び関係団体との調整）	既設の354台の更新と14台の増設（R7.4.1稼働開始）	既設の680台の更新にかかる増設台数の調整及び関係団体との調整	既設の680台の更新の契約手続き（R9.10.1稼働開始）	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
市内の通学路等を中心に設置する1,000台を超える街頭防犯カメラについて、適切に維持管理を実施していく。	既設354台の更新に加え、地域要望について市民全体の費用負担や公平性、有効性などの観点で選定し、枚方・交野両警察署とも協議の上14台の増設を行った。	更新・増設分も含めた1,048台について、適切に維持・管理を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【03_01】ー 具体的な取り組み

危機管理部

施策名称	防犯体制の整備

２．防犯灯の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
現行の防犯灯補助制度について、地域毎の配分の精査を随時実施、補助制度の見直し	各支部毎の予算配分の精査	・各支部毎の予算配分の精査 ・枚方市防犯協議会への新たな制度概要等の説明及び意見聴取等を実施し、制度設計を進める。 ・新制度を地域に広報周知	・各支部毎の予算配分の精査 ・令和８年４月から見直し後の補助制度（申請受付）を開始。	継続	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・各支部毎の予算配分の精査。 ・令和8年4月からの新たな制度について、制度設計を進めるとともに、地域に周知を図る。	10年間の予算計画について、概ね３年毎に予算の見直しを行うこととしており、各支部の状況をモニタリングしたうえで配分予算の見直しを行った。	令和８年度から実施する市直接補助制度を創設し、地域への周知を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【03_01】－ 具体的な取り組み

危機管理部

施策名称	防犯体制の整備

３．青色防犯パトロールの支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
校区コミュニティ協議会等が実施するパトロールに要する経費の補助	補助金のあり方について検討を行う	補助金のあり方について検討を行い、制度の見直し	検討結果の対応	－	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
現状のまま継続する。	R5年度に地域に対して実施したアンケート調査に基づき、補助金のあり方について検討を行った。	補助金のあり方について検討を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【03_01】ー 施策指標

危機管理部

施策名称	防犯体制の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
犯罪発生件数	市内の刑法犯罪発生件数（1日当たり）	4.0	3.9	3.8	3.7	件	危機管理政策課	1．防犯カメラの整備
各年度の実績		5.1	4.9			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 コロナ禍が明け人流が戻ったことにより、本市だけでなく大阪府下全域で発生件数が増加している。								
【施策指標の分析 R7】 防犯カメラの整備、青色防犯パトロールや特殊詐欺被害防止啓発の実施により、発生件数が減少した。								

施策シート【03_01】ー 施策指標

危機管理部

施策名称	防犯体制の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域が設置管理するLED防犯灯の取替率	地域が設置管理しているLED防犯灯において、計画どおり補助申請がなされる率。（全支部から申請のあった取替本数/年間想定取替本数）	100	100	100	100	%	危機管理政策課	2．防犯灯の整備
各年度の実績		69.6	74			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 防犯灯の取替の進捗は地域差があることから、今後も予防的交換も含め計画的に取替を進めていただくよう周知する必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 引き続き制度の周知を行ったことにより取替率が増加した。								

施策シート【03_02】

危機管理部

施策名称	**消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	3.暮らしに身近な安全が確保されたまち
めざす姿（主観的満足度）		防犯体制が整い、身近な安全が確保されている
概要		消費者被害の未然防止や被害の早期回復に向け、消費者の意識啓発や相談体制の充実を図る。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．特殊詐欺被害への対策 ○特殊詐欺対策機器貸与事業の実施 2．特殊詐欺被害等の周知・啓発 3．消費生活の相談充実			

施策シート【03_02】ー 具体的な取り組み

危機管理部

施策名称	消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実

１．特殊詐欺被害への対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
特殊詐欺に係る被害防止のための簡易型録音機による普及啓発拡大強化及び録音・着信拒否ができる特殊詐欺対策機器貸与事業の実施	・各種啓発活動の拡大強化 ・特殊詐欺対策機器貸与事業の実施	継続	継続	・R6～R8の効果検証及び啓発方法の検討 ・特殊詐欺対策機器貸与事業の実施（継続）	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
R7年度に特殊詐欺対策機器を新たに400台購入し、警察や関係機関と連携しながら貸与事業を継続していく。	・簡易型録音機の防犯キャンペーン等での配布にあわせて啓発を行った。 ・府補助金を活用し、特殊詐欺対策機器を700台購入したうち約580台貸与を行った。	・簡易型録音機の防犯キャンペーン等での配布にあわせて啓発を行った。 ・府補助金を活用し、特殊詐欺対策機器を400台購入し、昨年度の残数とあわせて計246台貸与した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【03_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部

施策名称	消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実

２．特殊詐欺被害等の周知・啓発

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
特殊詐欺や悪質商法に関する啓発や情報提供について、R6に高齢者や学生等へ周知方法を強化し、警察や関係機関、地域と連携した啓発活動を展開	・被害情報の提供 ・各種啓発活動の拡大強化	継続	継続	R6～R8の効果検証及び啓発方法の検討	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
特殊詐欺や消費者被害に関してさらに広く情報提供する方法を調査し、現在の取り組みを引き続き実施する。	・特殊詐欺対策機器の貸与・配布事業にあわせて、関係機関と連携しながら啓発を行った。 ・若者に向けて闇バイトに関する注意喚起を行った。 ・月間くらしの赤信号を毎月作成し、HPに掲載や市内学校へデータで提供した。また、印刷物を市施設や郵便局等へ配布した。 ・地域包括支援センターへ「消費者被害のお知らせ」を毎月情報提供した。 ・市内大学へ「消費者トラブルの注意喚起について」を掲示板システムに掲載依頼した。また、市内高校へ啓発冊子を配布した。	・特殊詐欺対策機器の貸与・配布事業にあわせて、関係機関と連携しながら啓発を行った。また、今年度から消費生活センター出前講座の際に、申請書を配布し実機を使って説明することで、市民の関心を高められた。 ・若者に向けて闇バイトに関する注意喚起を行った。 ・月間くらしの赤信号を毎月作成し、HPに掲載や市内学校へデータで提供した。また、印刷物を市施設や郵便局等へ配布した。 ・地域包括支援センターへ「消費者被害のお知らせ」を毎月情報提供した。 ・市内大学へ「消費者トラブルの注意喚起について」を掲示板システムに掲載依頼した。また、支援学校を含む市内高校へ啓発冊子を配布した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【03_02】－ 具体的な取り組み

危機管理部

施策名称	消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実

３．消費生活の相談充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
消費生活相談の解決へ向けて助言または斡旋を行うとともに全国消費生活情報（PIO-NET）に相談情報を入力・調査・検索することにより本市消費生活相談を迅速・的確に処理	消費生活相談に対し助言や斡旋等を実施	継続	継続	継続	危機管理政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
消費生活相談の内容が巧妙化・多様化しているため、研修の受講や情報収集に努め、トラブル解決に取り組む。	国民生活センターが開催する研修、大阪弁護士会や関西消費者協会が開催する事例研修へ参加するとともに、消費者庁や国民生活センターからの消費者トラブルに関する情報を収集し、相談者の問題解決に活かして助言・斡旋を行った。（消費者相談のうち解決した割合　98.1%）	国民生活センターが開催する研修、大阪弁護士会や関西消費者協会が開催する事例研修へ参加するとともに、消費者庁や国民生活センターからの消費者トラブルに関する情報を収集し、相談者の問題解決に活かして助言・斡旋を行った。（消費者相談のうち解決した割合　97.9%）また、包括支援センターとの意見交換会を行い見守り活動のための情報共有を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【03_02】ー 施策指標

危機管理部

施策名称	消費者被害へ意識啓発･相談体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方市内における年間特殊詐欺認知件数	大阪府警が公表する年間特殊詐欺認知件数（1月～１２月の確定値）	90	90	75	75	件	危機管理政策課	１．特殊詐欺被害への対策
各年度の実績		94	77			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 大阪府下全体で昨年より認知件数が増加するなか、昨年より認知件数および府下でのワースト順位も改善している。								
【施策指標の分析 R7】 啓発及び特殊詐欺対策機器貸与事業の効果で、大阪府下全体で昨年より認知件数が増加するなか、昨年より認知件数および府下でのワースト順位も改善している。								

施策シート【03_02】ー 施策指標

危機管理部

施策名称	消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
悪質商法や特殊詐欺に関する啓発や情報提供の回数	・月刊くらしの赤信号の発行 ・SOSネットワークを活用した情報提供 ・市内5大学の学生掲示板への掲示 ・特殊詐欺対策録音機等の配布にあわせた啓発及び情報提供	36	36	50	50	回	危機管理政策課	2．特殊詐欺被害等の周知・啓発
各年度の実績		47	48			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 月刊くらしの赤信号の発行、SOSネットワークを活用した情報提供、市内5大学の学生掲示板への掲示について計画通り実行した。次年度も消費者被害防止に役立つ情報を提供していく。								
【施策指標の分析 R7】 月刊くらしの赤信号の発行、SOSネットワークを活用した情報提供、市内5大学の学生掲示板への掲示について年度計画通り実行するだけでなく、SNSやホームページでも注意喚起情報を発信した。次年度も消費者被害防止に役立つ情報を提供していく。								

施策シート【03_02】ー 施策指標

危機管理部

施策名称	消費者被害へ意識啓発・相談体制の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
消費者相談のうち解決した割合	消費者相談解決済件数（あっせん不調・処理不能を除く）／消費者相談件数（年度内処理済件数）	98.5	98.5	98.5	98.5	%	危機管理政策課	3．消費生活の相談充実
各年度の実績		98.1	97.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 消費者トラブルは巧妙化しており、「特殊詐欺」「SNS詐欺」「悪徳商法」の増加などにより、多様な形態で発生することを見据え、国民生活センターをはじめ大阪弁護士会、関西消費者協会の各種専門研修の受講と情報共有、また、全国消費生活情報ネットワークシステム（PIO-NET）の情報収集と合わせて、解決の割合が増加するよう対応していく。								
【施策指標の分析 R7】 消費者トラブルは巧妙化しており、「特殊詐欺」「SNS詐欺」「悪徳商法」の増加などにより、多様な形態で発生することを見据え、国民生活センターをはじめ大阪弁護士会、関西消費者協会の各種専門研修の受講と情報共有行いながら、全国消費生活情報ネットワークシステム（PIO-NET）の情報収集と合わせて、解決の割合が増加するよう対応していく。また、消費者安全確保地域協議会の構成員と連携を図ることで、高齢者等の被害防止や早期解決を図っていく。								

施策シート【04－01】

土木部

施策名称	**幹線道路の整備**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で快適な道路環境が整っている
概要	交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備を進めます。	

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
１．主要道路のリフレッシュ整備 ２．都市計画道路の整備 （１）長尾杉線整備 （２）御殿山小倉線整備 （３）牧野長尾線整備 （４）中振交野線整備 ３．春日大峯線道路拡幅 ４．枚方藤阪線整備 ５．道路改良	２．都市計画道路の整備 （１）長尾杉線整備 ○長尾杉線長尾工区供用開始 （３）牧野長尾線整備 ○牧野長尾線大池区間の供用開始		

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

１．主要道路のリフレッシュ整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
主要幹線道路に対して、地盤等の調査結果を基に、現在の利用状況にあった舗装構成に改築及び更新（リフレッシュ整備）	長尾船橋線、中宮津田線、楠葉中宮線、杉尊延寺線の計画予定延長を実施できるように、交付金を積極的に活用し、整備を実施	中宮津田線、楠葉中宮線、杉尊延寺線、新香里中央線の計画予定延長を実施できるように、交付金を積極的に活用し、整備を実施	新香里中央線、山之上高田線の計画予定延長を実施できるように、交付金を積極的に活用し、整備を実施	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
リフレッシュ整備路線の未整備区間については、交付金（加速化対策）の活用を積極的に行い、整備を進める	長尾船橋線、中宮津田線、楠葉中宮線、杉尊延寺線の整備及び山之上高田線、新香里中央線の設計	中宮津田線、楠葉中宮線、杉尊延寺線、新香里中央線の整備及び枚方新香里線、中振新香里線の設計			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

2（1）. 都市計画道路の整備（長尾杉線整備）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
国道307号から牧野長尾線までの道路整備	長尾工区の道路整備	長尾工区の道路整備 ※供用開始	－	－	土木政策課、道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和7年度末の供用開始に向けて整備を進める	長尾工区の道路整備	長尾工区の道路整備 ※供用開始			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

2（2）．都市計画道路の整備（御殿山小倉線整備）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
渚星ヶ丘線から渚中宮線まで（3工区)の道路整備	予備設計・用地測量	予備設計・用地測量	詳細設計 用地取得	詳細設計 用地取得 道路整備（着工）	土木政策課、道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
事業認可に向けて関係機関の協議を進めると同時に詳細設計、用地先行買収に向けた準備を進める	予備設計・用地測量	予備設計・用地測量			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

2（3）．都市計画道路の整備（牧野長尾線整備）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
長尾大池北端から府道枚方高槻線までの道路整備	大池区間、住宅区間の道路整備	大池区間、住宅区間の道路整備 ※大池区間の供用開始	住宅区間の道路整備	継続	土木政策課、道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
大池区間の令和7年度末の供用開始に向けて整備を進める。住宅区間については、橋梁区間の線形確定し用地買収に向けた準備ができた。今後、用地買収の動向に合わせ詳細設計の着手を図る。	大池区間の道路整備 住宅区間の設計見直し	大池区間の道路整備 ※大池区間の供用開始			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

２（４）．都市計画道路の整備（中振交野線整備）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
府道八尾枚方線から市道南中振21号線及び市管理道路までの都市計画道路整備	土地収用法に基づく手続き	土地取得	道路整備	ー	土木政策課、道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
土地収用法に基づく手続きを行い、権利取得裁決及び物件明渡裁決を収用委員会に諮り、結果に合わせ今後の方向性を検討する。	土地収用法に基づく申請の手続き	土地取得			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

３．春日大峯線道路拡幅

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市道春日大峯線の拡幅整備	整備手法の検討	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
地域の意向や財政状況等を勘案し、整備手法を検討する。	整備手法の検討	整備手法の検討			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

４．枚方藤阪線整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅から府道杉田口禁野線までの都市計画道路整備	用地取得の協議継続	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
道路用地取得に向け協議の継続を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。	用地取得に向け協議継続	用地取得に向け協議継続			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【04－01】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	幹線道路の整備

５．道路改良

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大規模な災害発生後、道路施設の適正な維持管理を図るため、以下の内容について実施。 ・法定外公共物（里道）の改良　・市道の維持補修工事に該当しない道路の改良	大規模な災害発生後の法定外公共物（里道）等の改良	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
大規模な災害が発生した場合、道路施設の適正な維持管理を図るため、今後改良を実施していく。	改良する事象が発生しなかった	改良する事象が発生しなかった			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04－01】－ 施策指標

土木部

施策名称	幹線道路の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
修繕が必要な延長に対し実施した延長の修繕率（主要道路に対して、現在の利用状況にあった舗装構成に改築及び更新）	各年度における修繕済延長距離／各年度における修繕予定延長距離	100	100	100	100	%	道路河川整備課	1．主要道路のリフレッシュ整備
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度は各路線とも予定通り整備できている。令和7年度以降も引き続き交付金を積極的に活用し整備を進める。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度は各路線とも予定通り整備ができた。令和8年度以降も引き続き交付金を積極的に活用し整備を進める。								

施策シート【04－01】－ 施策指標

土木部

施策名称	幹線道路の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市事業における都市計画道路の整備率	市事業における都市計画道路の整備延長距離／計画延長距離	50	55	58	59	%	道路河川整備課	－
各年度の実績		46.6	55			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 各路線とも順調に進んでおり令和7年度まで予定どおり整備率が伸びるものと思われるが、令和8年度以降については用地取得状況により停滞する可能性がある。								
【施策指標の分析 R7】 牧野長尾線（長尾大池工区）・長尾杉線（長尾工区）の供用開始により整備率が上がった。今後、用地取得を進めるが、整備工事着手には当面時間を要する。								

施策シート【04－01】－ 施策指標

土木部

施策名称	幹線道路の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
各年度における歩道の設置延長距離	各年度における市道の歩道設置延長距離	270	554	90	0	m	道路河川整備課	2（1）～2（4）．都市計画道路の整備
各年度の実績		1,020	554			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 御殿山小倉線・中振交野線の供用開始が令和6年度に繰越されたことにより整備延長が伸びている見かけとなっている。令和7年度以降は計画通り整備を進める。								
【施策指標の分析 R7】 長尾杉線（長尾工区）・牧野長尾線（大池工区）の供用開始により、歩道設置延長が伸びている。令和８年度以降は整備着手に相当時間を要するため歩道設置延長の伸びは厳しい。								

施策シート【04－01】－ 施策指標

土木部

施策名称	幹線道路の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
国道１号における旅行速度	枚方市内の国道１号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所５か所の旅行速度の平均値）	17.7以上 (令和3年から過去10年間の旅行速度の平均値)	17.7以上	18.1	18.1	km/h	土木政策課	－
各年度の実績		17.6	18.1			km/h	備考	
【施策指標の分析 R6】 R6年度に市事業の都市計画道路が供用しているが、一部区間のみでは過去からの平均値と大きく変化がなかった。（R5実績値）								
【施策指標の分析 R7】 R6年度に市事業の都市計画道路が供用したことや大阪府道の改良工事により周辺の交通環境が変わり、旅行速度が改善された。（R6実績値）								

施策シート【04－01】－ 施策指標

土木部

施策名称	幹線道路の整備

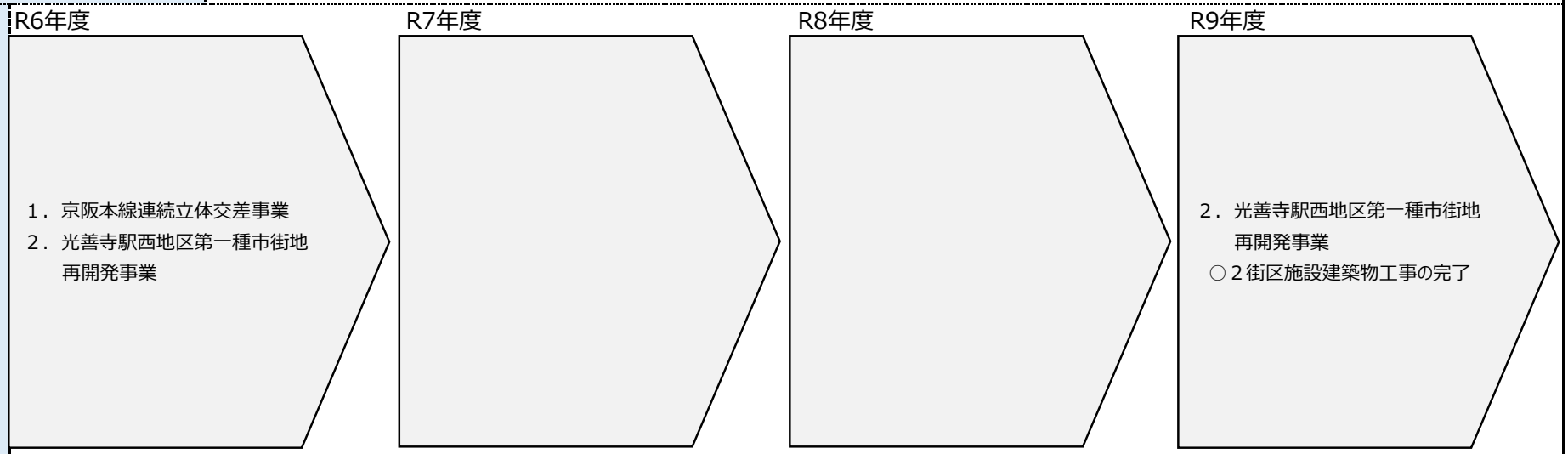
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
改良件数	各年度の対応件数	0	0	0	0	件	道路河川整備課	5．道路改良
各年度の実績		0	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 改良する事象が発生しなかったため							・法定外公共物（里道）及び市道の維持補修工事に該当しない道路改良工事については、当課において計画的に対応することがないため。 ・道路構造物（橋梁等）の補強工事については、施策シート01_03の橋梁長寿命化計画における修繕率で管理しているため。 ◎今回、上記内容を踏まえ、現状に見合った内容【大規模な災害発生後に損傷した道路施設の改良】で今後管理していく方が望ましいと考え見直しを行った。	
【施策指標の分析 R7】 改良する事象が発生しなかった。								

施策シート【04_02】

都市整備部

施策名称	**京阪本線連続立体交差事業の推進**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で快適な道路環境が整っている
概要	交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、京阪本線連続立体交差事業を進める。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【04_02】－ 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	京阪本線連続立体交差事業の推進

１．京阪本線連続立体交差事業

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
鉄道を高架化し、市内１５か所の踏切除却をすることで、交通渋滞の解消と事故の防止等、都市交通を円滑化し、平面鉄道で分断されているまちの一体化、新たに創出される高架下の有効活用などを目的に京阪本線連続立体交差事業を推進。	・用地取得 ・文化財調査 ・道路設計，工事 ・支障物件移設等調整	・用地取得 ・文化財調査 ・道路設計，工事 ・支障物件移設等調整 ・事業認可変更準備調整	・用地取得 ・文化財調査 ・道路設計，工事 ・支障物件移設等調整 ・事業認可変更手続等調整	・文化財調査 ・道路設計，工事 ・支障物件移設等調整 ・事業認可変更 ・地元説明等	連続立体交差課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
R4年度より鉄道高架化工事に着手し、引き続き支障物の移設等の調整を行っていく。用地取得の残案件についても収用裁決申請手続きにより完了に向けて鋭意取り組む。	用地取得はほぼ完了し、支障物移設調整および包蔵地の文化財調査を行った。	用地取得はほぼ完了し、支障物移設調整、工事付替道路設計および包蔵地の文化財調査を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04_02】－ 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	京阪本線連続立体交差事業の推進

２．光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
都市機能の集積と交通結節点機能の強化を一体的に図り、立地適正化計画に基づくコンパクト・プラス・ネットワークの形成による駅部を中心とした良好な市街地環境と地域の活性化を促進。	・2街区の建築敷地の文化財調査および建築工事の着手 ・一部の都市計画道路の整備着手	・2街区施設建築物の建築工事（継続） ・都市計画道路等の設計	・2街区施設建築物の建築工事（継続） ・都市計画道路等の工事の着手	・2街区施設建築物の工事を完了 ・都市計画道路等の工事（継続）	市街地開発課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・事業完了に向け引続き技術的・財政的支援を継続する。 ・国庫補助の配当について、国土交通省より厳しい状況が続くとの話が出ているため、引続き国や府と協議を行い交付金の確保に努める。 ・京阪本線連続立体交差事業との事業進捗等の情報共有及び調整。	・2街区の建築敷地の文化財調査(令和６年６月完了) ・２街区建築工事（令和６年７月着手） ・都市計画道路の一部の舗装整備と歩行者等への解放の実施（令和６年７月～）	・２街区建築工事（計画通り進捗） ・都市計画道路等の設計（詳細設計の実施、管理者意向等反映のため一部次年度へ繰越）			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【04_02】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	京阪本線連続立体交差事業の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
連続立体交差事業用地取得率	連続立体交差事業に必要となる事業用地の取得率（取得面積／総取得面積）	99	100	100	－	%	連続立体交差課	１．京阪本線連続立体交差事業
各年度の実績		99	99			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 R6年度末時点で残案件が１となり、R7年度中に用地取得率100%を目標としている。								
【施策指標の分析 R7】 R6年度に収用裁決申請手続を行った残案件の事務手続をR7年度中に行ったが審理等に時間を要しているため、R8年度中に用地取得率100%を目標としている。							令和７年度に用地取得完了予定であったが収用裁決の審理等に時間を要したため、令和７年度に取得完了せずR8年度完了を指標とした	

施策シート【04_02】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	京阪本線連続立体交差事業の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
事業進捗率	事業進捗率＝当該年度までの事業費の累計／総事業費	48.00	69.63	93.78	97.33	%	市街地開発課	２．光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業
各年度の実績		48	69.63			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 都市計画道路等の設計の着手及び２街区建築工事等を当初の想定通り進捗させることができたため、目標値を達成できた。次年度以降についても、再開発組合と事業の進捗等について協議しながら、目標達成に向けて取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 都市計画道路等の設計及び２街区建築工事等を当初の想定通り進捗させることができたため、目標値を達成できた。次年度以降についても、再開発組合と事業の進捗等について協議しながら、目標達成に向けて取り組んでいく。								
耐火建築物の整備率（不燃化率）	不燃化率＝（耐火建築物の建築面積＋準耐火建築物の建築面積×0.8）／（全建物の建築面積）	58.91	79.45	99.07	100	%	市街地開発課	２．光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業
各年度の実績		58.91	79.45			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年７月より着工している２街区建築工事について、当初の想定通り工事が進捗したことで目標値が達成できた。次年度以降についても、再開発組合と工事の進捗等について協議しながら、目標達成に向けて取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 ２街区建築工事について、当初の想定通り工事が進捗したことで目標値が達成できた。次年度以降についても、再開発組合と工事の進捗等について協議しながら、目標達成に向けて取り組んでいく。								

施策シート【04_03】

土木部

施策名称	**広域的な幹線道路等の整備**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で快適な道路環境が整っている
概要		交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組む。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．新名神高速道路インターチェンジへのアクセス道の整備促進 2．渡河橋（牧野高槻線）の新設と京都守口線の4車線化			1．新名神高速道路インターチェンジへのアクセス道の整備促進 ○内里高野道線残区間開通

施策シート【04_03】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	広域的な幹線道路等の整備

１．新名神高速道路インターチェンジへのアクセス道の整備促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新名神高速道路八幡京田辺IC・JCTへのアクセス道となる内里高野道線・長尾家具町線の開通に向けて北山通線等を整備。	・北山通線の道路線形振り替え工事に伴う、新設道路整備及び現道の改修 ・現道の活用整備	－	－	※内里高野道 線残区間開通 （※府事業）	土木政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
新名神高速道路八幡京田辺IC・JCTへのアクセス道となる内里高野道線の残区間は、新名神高速道路の供用に併せて整備するため、新名神高速事業の事業進捗を注視する。	・北山通線の新設道路整備及び現道の改修が完了	－			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04_03】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	広域的な幹線道路等の整備

２．渡河橋（牧野高槻線）の新設と京都守口線の4車線化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪府と連携して令和11年度の完成を目指して、渡河橋（牧野高槻線）の新設と京都守口線の4車線化に取り組む。	・物件調査 ・用地取得 ※工事 (※府事業)	・用地取得 ※工事 (※府事業)	※工事 (※府事業)	※工事 (※府事業)	土木政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
大阪府との覚書や用地の取得に関する協定書に基づき、本市が用地取得事務に取り組む。	・事業対象地について、物件調査等を行い、用地取得を実施	用地取得を実施			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04_03】ー 施策指標

土木部

施策名称	広域的な幹線道路等の整備

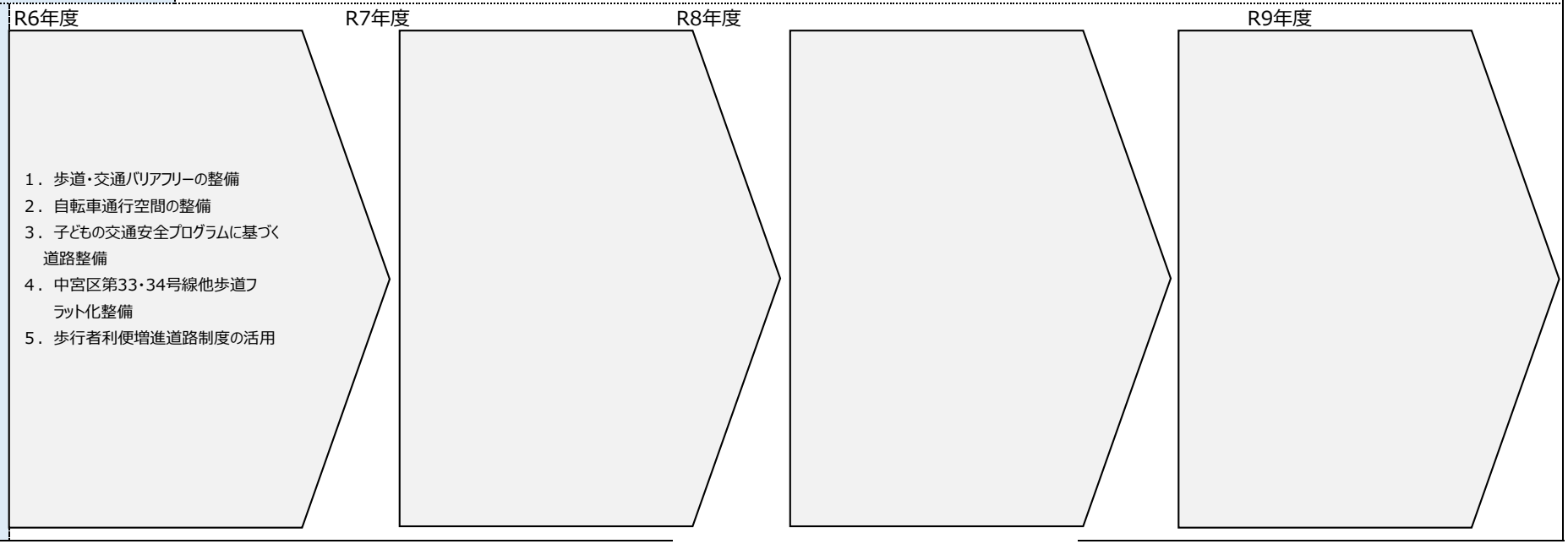
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
国道１号における旅行速度（再掲）	枚方市内の国道１号の主要渋滞箇所における平均旅行速度（主要渋滞箇所５か所の旅行速度の平均値）	17.7以上 (令和3年から過去10年間の旅行速度の平均値)	17.7以上	18.1	18.1	km/h	土木政策課	-
各年度の実績		17.6	18.1			km/h	備考	
【施策指標の分析 R6】 R6年度に市事業の都市計画道路が供用しているが、一部区間のみでは過去からの平均値と大きく変化がなかった。（R5実績値）								
【施策指標の分析 R7】 R6年度に市事業の都市計画道路が供用したことや大阪府道の改良工事により周辺の交通環境が変わり、旅行速度が改善された。（R6実績値）								

施策シート【04_04】

土木部

施策名称	**快適な歩行空間の整備**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で快適な道路環境が整っている
概要	日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組む。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【04_04】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

１．歩道・交通バリアフリーの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
歩道拡幅整備及び交通バリアフリー整備に伴う設計及び工事の実施	・中振新香里線 【継続】歩道拡幅設計 ・牧野北町第2号線 バリアフリー工事 ・高田11号線 歩道拡幅用地測量・設計	・中振新香里線 歩道拡幅工事 ・星丘・村野駅周辺 バリアフリー設計 ・高田11号線 歩道拡幅用地取得	・中振新香里線 【継続】歩道拡幅工事 ・星丘・村野駅周辺 バリアフリー工事 ・高田11号線 歩道拡幅工事	・中振新香里線 歩道拡幅設計 ・星丘・村野駅周辺 【継続】バリアフリー工事 ・高田11号線 歩道拡幅工事	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
計画的に歩道拡幅整備及び交通バリアフリー整備に伴う設計及び工事を実施する。	・中振新香里線 歩道拡幅設計 ・牧野北町第2号線 バリアフリー工事 ・高田11号線 歩道拡幅用地測量・設計	・御殿山・星ヶ丘2号 踏切誘導標示整備工事 ・中振新香里線 歩道拡幅工事 ・星丘・村野駅周辺 バリアフリー設計			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【04_04】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

２．自転車通行空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
牧野長尾線、長尾杉線、御殿山小倉線、中振交野線及び市道の自転車通行空間の整備を実施	【既存路線】 ・北片鉾小倉東線　他 ・自転車設計（牧野本町第１号線他）	【新規路線】（再掲） ・牧野長尾線（大池区間） ・長尾杉線（長尾工区） 【既存路線】 ・牧野本町第１号線他　・自転車設計（長尾船橋他）	【新規路線】（再掲） ・中振交野線 【既存路線】 ・長尾船橋線　・禁野枚方線 ・自転車設計（山之上高田線他）	【既存路線】 ・山之上高田線 ・新香里中央線 ・枚方新香里線	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
財政状況等を勘案し、他事業との調整や連携を図りながら計画的に自転車通行空間整備事業を進めていく。	・北片鉾小倉東線　他整備工事 ・牧野本町第１号線他実施設計	【新規路線】（再掲） ・牧野長尾線（大池区間） ・長尾杉線（長尾工区） 【既存路線】 ・牧野本町第１号線他　・自転車設計（長尾船橋他）			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【04_04】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

3. 子どもの交通安全プログラムに基づく道路整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、必要な整備を進める。	下記２路線における用地取得協議の継続、地権者の動向注視 ・尊延寺穂谷線の拡幅 ・市道王仁公園前線の歩道拡幅	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
道路用地取得に向け協議の継続を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。	用地取得に向け協議継続	用地取得に向け継続協議			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【04_04】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

４．中宮区第33･34号線他歩道フラット化整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、中宮区第33･34号線の歩行空間を確保する等の道路空間再配分事業を実施。	・他事業との調整や連携を図る ・事業の着手時期を検討	事業実施に向けた検討	事業実施に向けた検討	事業実施に向けた検討	道路河川整備課
取り組み課題･今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
他事業との調整や連携を図るとともに財政状況等を勘案し、事業の着手時期を検討していく。	他事業との調整や連携及び、事業着手時期の検討	他事業との調整や連携及び、事業着手時期の検討			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【04_04】ー 具体的な取り組み

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

５．歩行者利便増進道路制度の活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
樟葉駅前広場において、賑わいとゆとりある空間の形成に向け、道路法の規制緩和手法である歩行者利便増進道路制度、いわゆる「ほこみち制度」を活用し、民間の創意工夫による樟葉駅周辺の持続可能な賑わい創出と維持管理費用の確保を図る。	・制度活用に向けた実証実験 ・利便増進誘導区域の指定及び公募占用指針を策定 ・「枚方市歩行者利便増進道路占用予定者選定委員会」におけるほこみち占用者の選定	・ほこみち占用者の創意工夫による樟葉駅周辺の持続可能な賑わい創出 ・維持管理費用の確保	継続	継続	土木政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
「ほこみち制度」を活用した占用料やネーミングライツ料等を財源として樟葉駅前広場の維持管理を行うとともに樟葉駅周辺の持続可能な賑わい創出に向けて占用者と連携を行う。	制度活用に向けた実証実験及び利便増進誘導区域の指定、公募占用指針の策定を経て、「枚方市歩行者利便増進道路占用予定者選定委員会」でほこみち占用者を選定した。	・ほこみち占用者にて、駅前広場での休日イベント開催や平時でのテーブルベンチの設置など、持続的な賑わいの創出が図られた ・ほこみち占用料、ネーミングライツ料、デジタルサイネージ広告料により維持管理費用を確保した			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04_04】ー 施策指標

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
各年度における歩行空間の整備延長距離	各年度における歩行空間整備延長距離	0	75	145	70	m	道路河川整備課	1．歩道・交通バリアフリーの整備
各年度の実績		0	75			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度の設計委託が関係機関及び地権者との協議により繰越となり、今後用地取得の進捗状況によって、令和7年度以降の整備進捗率が停滞する可能性がある。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度は中振新香里線歩道拡幅工事（公共用地を活用）を実施した。今後、中振新香里線及び高田11号線の歩道拡幅整備については、用地取得の進捗状況によって、令和8年度以降の整備延長距離が停滞する可能性がある。								
各年度におけるバリアフリー整備延長距離	各年度におけるバリアフリー整備予定延長距離	390	420	160	370	m	道路河川整備課	1．歩道・交通バリアフリーの整備
各年度の実績		377	0			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度に実施した設計委託を令和7年度に工事を実施する予定としていたが、関係課との調整により令和8年度以降となったため、令和7年度以降の整備進捗率が停滞する可能性がある。 令和6年度は、1路線のバリアフリー整備工事を実施した。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度は星丘・村野駅地区周辺のバリアフリーの設計のみ実施したことで整備予定延長が目標値に届いていない。 また、整備延長の実績には反映していないが、別途、御殿山・星ヶ丘2号踏切道内への誘導表示整備工事を実施した。								

施策シート【04_04】－ 施策指標

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
各年度における自転車通行空間の整備延長距離	各年度における自転車通行空間整備延長距離	500	4,954	2,150	8,400	m	道路河川整備課	2．自転車通行空間の整備
各年度の実績		316	3,900			m	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度に実施した設計委託で関係機関との協議により、整備可能延長が減少したため、令和7年度の整備進捗率が停滞する可能性がある。 令和6年度は、1路線の自転車通行空間整備工事を実施した。								
【施策指標の分析 R7】 過年度関係機関との協議により、整備可能延長が減少したことから、令和7年度の整備延長距離が目標値に届いていない。 令和7年度は、牧野長尾線他8路線の自転車通行空間整備工事を実施した。								

施策シート【04_04】ー 施策指標

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
維持管理費用の確保	ネーミングライツ料、ほこみち占用料及,デジタルサイネージ広告収入の一部による維持管理費用の確保	5,400	6,720	7,415	7,415	千円	土木政策課	５．歩行者利便増進道路制度の活用
各年度の実績		5,400	7,415			千円	備考	
【施策指標の分析 R6】 ネーミングライツ料、ほこみち占用料及びデジタルサイネージ広告収入の一部による維持管理費用を確保								
【施策指標の分析 R7】 ・令和7年度より年間のほこみち占用料が徴収されたため、前年度より実績金額が増加 ・ネーミングライツ料、ほこみち占用料及びデジタルサイネージ広告収入の一部による維持管理費用を確保								

施策シート【04_04】－ 施策指標

土木部

施策名称	快適な歩行空間の整備

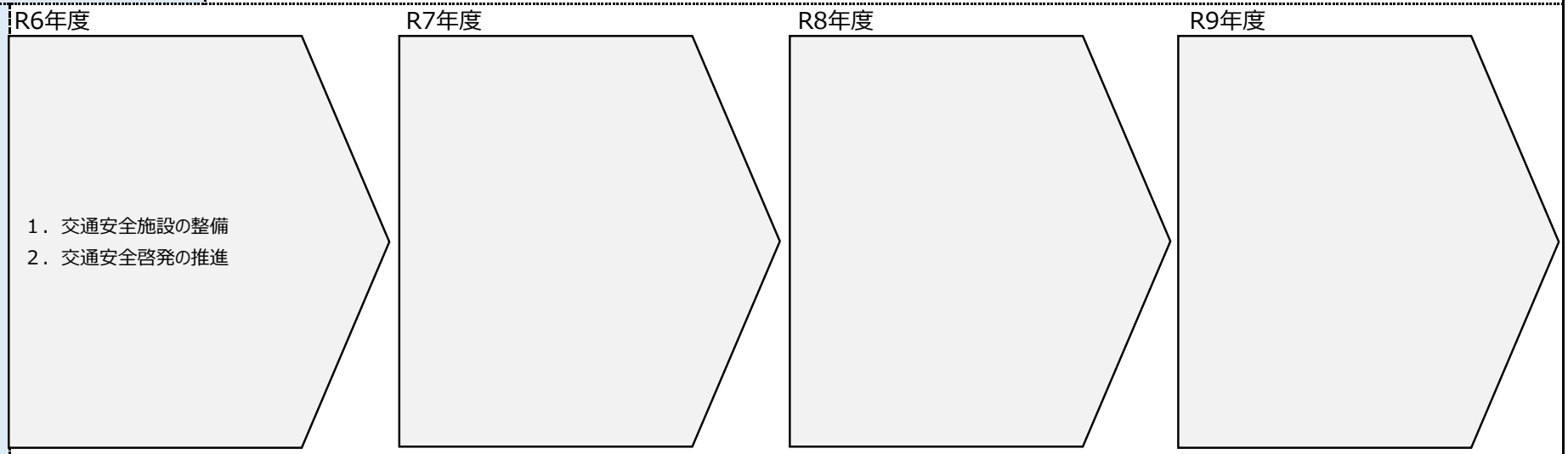
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
全体計画延長に対する合計整備延長の進捗割合	全体計画延長に対する合計整備延長の進捗割合	34.5	49.7	56.2	82	%	道路河川整備課	2．自転車通行空間の整備
各年度の実績			45.5			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 －								
【施策指標の分析 R7】 過年度関係機関との協議により、整備可能延長が減少したことから、令和7年度の整備延長進捗率が伸びていない。 令和7年度は牧野長尾線他8路線の自転車通行空間整備工事を実施した。							令和７年度に新規設定	

施策シート【04_05】

土木部

施策名称	**交通安全意識の向上**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	4.安全で快適な交通環境が整うまち
めざす姿（主観的満足度）		安全で快適な道路環境が整っている
概要		交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通意識の向上を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【04_05】ー 具体的な取り組み

土木部

施策名称	交通安全意識の向上

１．交通安全施設の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域要望などに基づく、交通安全施設の整備	カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の整備	継続	継続	継続	交通対策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
予算に交通対策特別交付金を充当しているが、年々減額しているため年度内に要望に対応しきれないことがある。子どもの交通安全プログラムなどは年度内の対応が望ましいため、教育委員会とともに財源確保に向けた取組が必要。	カーブミラー・横断防止柵の新設、区画線の塗り直しなど、交通安全施設の整備を実施した。	カーブミラー・横断防止柵の新設、区画線の塗り直しなど、交通安全施設の整備を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04_05】－ 具体的な取り組み

土木部

施策名称	交通安全意識の向上

２．交通安全啓発の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
交通安全啓発の推進	交通安全運動、交通安全教室（歩行・自転車）等の実施	継続	継続	継続	交通対策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
交通事故の減少を目指し、今後も、地道な交通安全啓発を実施する。	春と秋の全国交通安全運動（啓発パレード、自転車・バイクの点検等）、交通安全教室（歩行・自転車（市内44小学校））、保育園（所）、幼稚園への交通安全啓発DVD等の貸し出し（35園）を実施	春と秋の全国交通安全運動（啓発パレード、自転車・バイクの点検等）、交通安全教室（歩行・自転車（市内44小学校））、保育園（所）、幼稚園への交通安全啓発DVD等の貸し出し（30園）を実施			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【04_05】－ 施策指標

土木部

施策名称	交通安全意識の向上

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
交通事故件数（車両）	市内で発生した車両が関わる交通事故件数	1,150	1,130	1,110	1,090	件	交通対策課	1．交通安全施設の整備
各年度の実績		1,072	1,158			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 ・コロナ禍が落ち着き、地道な交通安全啓発の実施により、交通事故が減少したと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 ・市民に向けて地道な交通安全啓発を実施してきたが、市内で発生した車両が原因の交通事故件数は増加となった。 ・今後は、更なる交通安全啓発の周知を図るため、警察や関係団体などとの連携を強化し、車両による交通事故件数の減少に寄与するよう務める。								

施策シート【04_05】ー 施策指標

土木部

施策名称	交通安全意識の向上

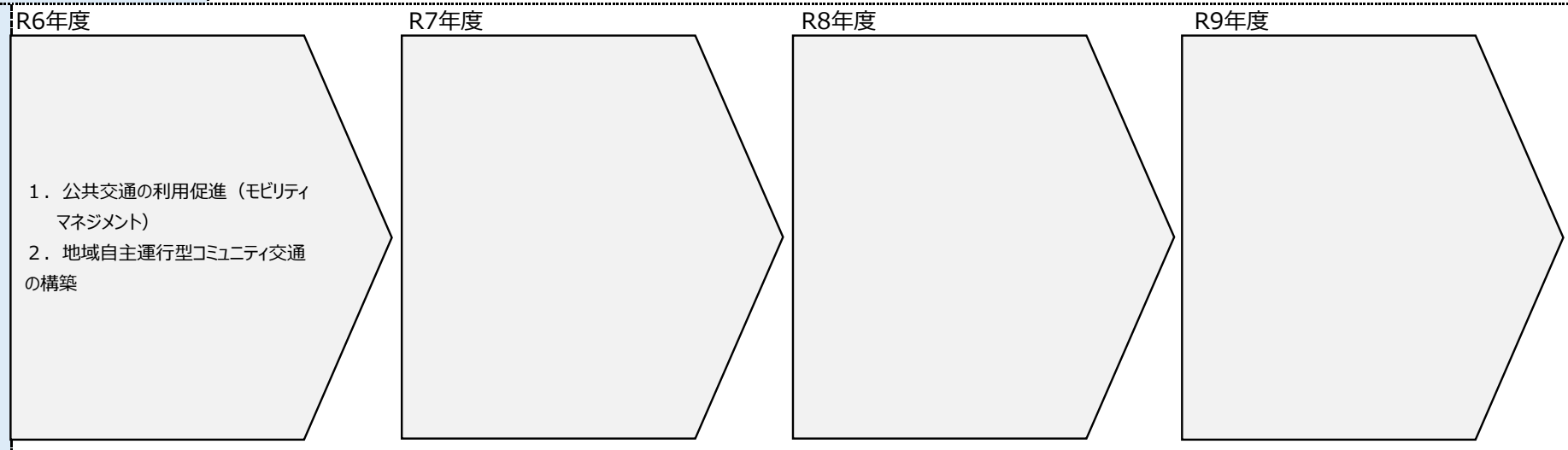
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
交通事故件数（歩行者・自転車）	市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数	430	420	410	400	件	交通対策課	2．交通安全啓発の推進
各年度の実績		409	456			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 ・コロナ禍が落ち着き、地道な交通安全啓発の実施により、交通事故が減少したと考えられる。								
【施策指標の分析 R7】 ・市民に向けて地道な交通安全啓発を実施してきたが、市内で発生した自転車や歩行者が関わる交通事故件数は増加となった。 ・今後は、更なる交通安全啓発の周知を図るため、警察や関係団体などとの連携を強化し、自転車や歩行者が関わる交通事故件数の減少に寄与するよう務める。								
交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	自転車や歩行者などの交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数	10,000	13,000	13,000	13,000	人	交通対策課	2．交通安全啓発の推進
各年度の実績		13,175	13,721			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ・関係機関との連携により、交通安全に関するイベントや安全教室の参加者が目標値を上回ることができた。								
【施策指標の分析 R7】 ・関係機関との連携により、交通安全に関するイベントや安全教室の参加者が目標値を上回ることができた。 ・今後も、市民ニーズに応じた教室に実施などに努め、交通事故の抑制に努める。								

施策シート【05_01】

土木部

施策名称	**公共交通機関の利用促進**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち
めざす姿（主観的満足度）		公共交通機関が整っているなど都市機能が充実じている
概要		市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【05_01】ー 具体的な取り組み

土木部

施策名称	公共交通機関の利用促進

１．公共交通の利用促進（モビリティマネジメント）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
過度に自家用車に依存することなく、多様な交通手段を選択することができるように、鉄道、バス、タクシーなどの公共交通の利用を促進し、持続可能な交通機能を確保する。	バススタンプラリー、バスバックヤードツアー等の公共交通イベントの実施	継続	継続	継続	交通対策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
運転手不足に伴う路線バスの廃止や減便が実施されており、バス路線の維持は深刻な状況。改定枚方市総合交通計画にも本施策を明記し、継続して実施していく。	バススタンプラリー（10/5、183名）、バスバックヤードツアー（1/25、1/26、112名）	バススタンプラリー（11/29、201名）、バスバックヤードツアー（1/24、1/25、101名）			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【05_01】ー 具体的な取り組み

土木部

施策名称	公共交通機関の利用促進

２．地域自主運行型コミュニティ交通の構築

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
公共交通不便地域などにおいて、既存の公共交通を補完することを目的に、地域協働及び地域への効果的な支援により、地域が主体となって地域の特性・ニーズに応じ移動手段を確保するために、地域自主運行型コミュニティ交通事業の構築を進める	・出前講座や勉強会の開催 ・共助版ライドシェアへの補助	・出前講座や勉強会の開催 ・共助版ライドシェアへの補助（対象範囲拡大） ・地域主体型の交通手段の確保の検討	継続	継続	土木政策課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
総合交通計画の改定に取り組み、公共交通を補完する移動手段を確保するための施策の１つとして、「地域自主運行型コミュニティ交通の水平展開」を位置付けた。 今後、既存補助制度の拡充や導入促進のための手引きの策定などに取組み、「共助版ライドシェア」に名称を改め、水平展開を図る。	・水平展開に向けて自治会などへの出前講座や勉強会を2回開催 ・2団体に「地域自主運行型コミュニティ交通」の補助を実施	・「ボランティア輸送補助」を「共助版ライドシェア補助」に名称を改めて、補助対象・補助額を拡充 ・地域自主運行型コミュニティ交通の導入手引きを作成 ・1団体に「地域自主運行型コミュニティ交通」の補助を実施			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【05_01】ー 施策指標

土木部

施策名称	公共交通機関の利用促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
公共交通利用促進啓発イベントの参加者数（累計）	鉄道やバスなど公共交通の利用を促進する啓発イベントの参加者数（累計）	6,500	7,000	7,305	7,615	人	交通対策課	１．公共交通の利用促進（モビリティマネジメント）
各年度の実績		6,932	7,234			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 計画通りに取組むことができたが、イベント参加者数の指標については天候や実施時期などの影響も受けるため、広報活動や出前講座などの公共交通利用促進啓発にも取組む。								
【施策指標の分析 R7】 ・公共交通利用促進啓発イベントは、概ね計画通りに実施することができ、参加者からも公共交通に関心を持っていただける意見があるなど、公共交通の利用促進啓発に寄与できたと考えている。 ・今後も、幅広い世代に公共交通に興味を持っていただき、利用を促進していただける様なイベントの実施に努める。								

施策シート【05_01】ー 施策指標

土木部

施策名称	公共交通機関の利用促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域自主運行型コミュニティ交通の実施組織数及び交通に関心を持った組織数	公共交通不便地域等において、地域自主運行型コミュニティ交通の支援を受けた組織数及び勉強会の開催など、関心をもった組織数	3	4	5	5	団体	土木政策課	２．地域自主運行型コミュニティ交通の構築
各年度の実績		4	5			団体	備考	
【施策指標の分析 R6】 R6年度は「枚方市総合交通計画」の改定に取り組み、公共交通を補完する移動手段を確保するための施策の１つとして、「地域自主運行型コミュニティ交通の水平展開」を位置付け、本施策に基づき、自治会などへの出前講座や勉強会を開催した。 また、「地域自主運行型コミュニティ交通」を行う団体に対し、補助支援等を行った。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度は「ボランティア輸送補助」を「共助版ライドシェア補助」に名称を改め、補助対象や補助額を拡充した。 また、「共助版ライドシェア」を含む地域自主運行型コミュニティ交通の水平展開を図るため、「地域主体による新たな移動手段の導入手引き」を作成した。								

施策シート【05_02】

都市整備部

施策名称	**空き家・空き地等の適正管理及び活用促進**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち
めざす姿（主観的満足度）		公共交通機関が整っているなど都市機能が充実している
概要		空き家・空き地の適正管理や活用促進及び分譲マンションの管理の適正化の推進を図ることにより、良好な居住環境を確保する。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．地域と連携した空き家対策の充実 2．若者世代空き家活用補助 3．空き家・空き地対策の推進 4．分譲マンションの管理適正化			4.枚方市分譲マンション管理適正化 〇推進計画の実施状況について実態調査および結果の分析・評価（中間検証）

施策シート【05_02】ー 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

１．地域と連携した空き家対策の充実

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域と連携した空き家の実態把握や地域に出向いたセミナーの開催、空き家に関する相談体制の整備など、地域密着の対策	取り組む地域の拡充～空き家の実態調査～所有者調査～利活用支援(セミナー（R6中）・相談体制の整備（R6～R9目途))	モデル的な取り組みから、実施段階へ（相談体制の整備・取り組みの制度化や補助制度の検討等）	継続	継続	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・今後も取り組みを展開するにあたり連携する地域の協力・選定に課題がある。 ・作業量に対して、より効率的な手法の検討	・２地区において空き家の実態調査を実施した。	・令和6年度から引き続き空き家の実態調査を実施した。 ・地域と連携した空き家対策をさらに効果的なものとするため、次年度から実施する新たな手法の構築に取り組んだ。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【05_02】ー 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

２．若者世代空き家活用補助

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
若者世代空き家活用補助制度を実施	若者世代空き家活用補助制度等の周知・啓発及び、運用	継続	継続	継続	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・補助制度利用者の拡充に向け、更なる周知啓発が必要	・制度周知のため、イベントへの出展や広報誌・SNSを活用した広報活動を実施した。	・制度周知のため、既存の広報活動に加え、デジタルサイネージを活用した周知・啓発を行った。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【05_02】－ 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

３．空き家・空き地対策の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
空き家の未然防止や活用など、空き家対策について総合的、計画的に取り組む	・モデル事業等の多角的な施策展開（例）地域協力による空き家実態調査 ・公民連携による所有者意向確認 ・定期的なセミナー開催	継続	継続	継続	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・改定した第２次枚方市空家等対策計画及び実行計画（第２期）に基づき、将来的に空き家にしないための「未然防止の取組み」と、既に空き家になっているものに対する「管理・活用の取組み」による空き家対策の実施	・２地区において空き家の実態調査を実施した。 ・法改正に伴う第２次枚方市空家等対策計画の改定及び実行計画（第２期）を策定した。 ・空き家対策に係るセミナーを２回開催した。	・１地区において空き家の実態調査を実施した。 ・空き家対策に係るセミナーを１回開催した。 ・管理不全空家等の認定に向けて候補案件を選定した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【05_02】ー 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

４．分譲マンションの管理適正化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市分譲マンション管理適正化推進計画（R5～R14）に基づき、マンションの管理適正化を計画的に促進	・管理適正化に関する情報提供及び相談支援体制の充実 ・管理計画認定制度の運用 ・マンション管理実態の把握や連絡体制の構築	継続	継続	計画の実施状況について実態調査および結果の分析・評価（中間検証）	住宅まちづくり課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・マンション管理の情報提供や管理計画認定制度の普及を行う必要がある。 ・実態調査アンケート未回収マンションに対し、引き続き回答を求める必要がある。 ・管理不適正マンションへの支援の働きかけを行う必要がある。	・マンションセミナーを2回開催した。 ・大阪府マンション管理士会と協定締結し、R7年度以降の個別相談会とアドバイザー派遣実施体制を構築した。 ・管理計画認定を2件行った。 ・管理実態が未把握であるマンションにアンケートを送付した。	・マンションセミナーを2回開催した。 ・大阪府マンション管理士会と締結した協定に基づき、月1回の個別相談会を実施した。 ・実態調査により把握した管理不適正マンションに面談等で現況の聴き取りを行い、うち2件のマンションの管理不適正が解消に至ったことを確認した。 ・管理計画認定を1件行った。 ・管理実態が未把握であるマンションにアンケートを送付し、3件の回答を得た。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【05_02】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域・不動産団体等・行政の連携により空き家の所有者と不動産事業者がマッチングした物件の数（累計）	行政が地域に出向き、地元協力による空き家実態調査や不動産団体等と連携した空き家の所有者調査及び意向確認並びに所有者相談や空き家活用に向けた支援を行う空き家解消への取り組みにより空き家の所有者と不動産事業者がマッチングした物件の数（累計）	11	15	19	23	件	住宅まちづくり課	１．地域と連携した空き家対策の充実
各年度の実績		8	9			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 所有者相談等の中で空き家の活用意向が確認できたものについては、協力事業者とマッチングすることにより、空き家の流通促進につなげたが、地域と連携した取り組みについては、地域選定に時間を要したため、今年度中にマッチングに至らず目標を達成できなかった。								
【施策指標の分析 R7】 所有者相談等の中で空き家の活用意向が確認できたものについては、協力事業者とマッチングすることにより空き家の流通促進につなげたが、活用意向件数及びマッチング希望件数が少なかったことから目標達成には至らなかった。								

施策シート【05_02】ー 施策指標

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市内の空き家が不動産流通等により解消された件数	若者世代空き家活用補助制度等の活用により空き家が解消された執行件数	30	30	30	30	件	住宅まちづくり課	2．若者世代空き家活用補助
各年度の実績		21	31			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 若者世代空き家活用補助制度の利用促進のため、イベントへの出展や広報誌・SNSを活用した広報活動を実施したが、申込件数が補助枠上限に達しなかったため目標値を達成できなかった。								
【施策指標の分析 R7】 若者世代空き家活用補助制度の利用促進のため、イベントへの出展や広報誌・SNSを活用した広報活動を広く実施したことにより、目標を上回った。制度利用促進のため、引き続き広報活動を継続していく必要がある。								

施策シート【05_02】ー 施策指標

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特定空家等及び特定空き地等の改善率	周囲への危険性が高いと市が判断して「特定空家等」及び「特定空き地等」と認めた物件のうち、危険が取り除かれ指定の解除に至った数／「特定空家等」及び「特定空き地等」と認めた物件の数	100	100	100	100	%	住宅まちづくり課	３．空き家・空き地対策の推進
各年度の実績		0	0			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 認定している特定空家（１件）については、所有者への指導等により一定の改善は見られたものの、認定解除には至っていない。								
【施策指標の分析 R7】 認定している特定空家（１件）については、継続して所有者に対し改善するよう指導を行っており、認定解除には至っていない。								

施策シート【05_02】ー 施策指標

都市整備部

施策名称	空き家・空き地等の適正管理及び活用促進

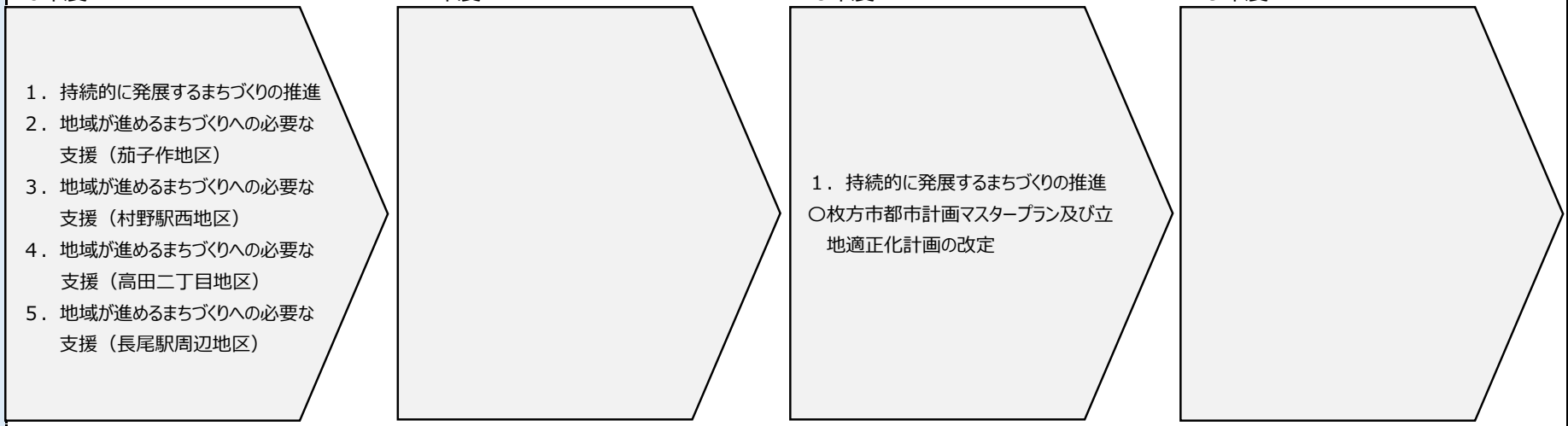
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
管理不適正マンションの割合	マンション管理実態調査（アンケート調査）における管理不適正マンションの件数／回答件数	7.0（R14目標値）	7.0（R14目標値）	7.0（R14目標値）	7.0（R14目標値）	%	住宅まちづくり課	４．分譲マンションの管理適正化
各年度の実績		9.3	8.1			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 管理不適正マンションに対してアドバイザー派遣制度などの支援の働きかけを行う必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 面談等により2件の管理不適正解消を確認したことから、昨年度から割合が改善された。引き続き管理不適正マンションの現況の把握と、アドバイザー派遣制度などの支援の働きかけを行う必要がある。								
30年以上の長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定している分譲マンション管理組合の割合	マンション管理実態調査（アンケート調査）における計画期間30年以上のマンションの件数／回答件数	51.0（R14目標値）	51.0（R14目標値）	51.0（R14目標値）	51.0（R14目標値）	%	住宅まちづくり課	４．分譲マンションの管理適正化
各年度の実績		35.2	36.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 マンション管理の情報提供や管理計画認定制度の普及とともに、長期修繕計画の作成や見直しに対する支援を行う必要がある。								
【施策指標の分析 R7】 管理計画の認定を1件行ったことにより昨年度から割合増となった。引き続き30年以上の長期修繕計画がないマンションに対し、助言や支援の働きかけを行う必要がある。								

施策シート【05_03】

都市整備部

施策名称	**公共交通を軸とした都市機能の集約化**	
総合計画体系	基本目標等	1.安全で、利便性の高いまち
	施策目標等	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち
めざす姿（主観的満足度）		公共交通機関が整っているなど都市機能が充実している
概要		公共交通と連携して、医療・福祉・商業等の生活機能を確保したコンパクトなまちづくりを計画的に進める。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【05_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

１．持続的に発展するまちづくりの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定	委託業務発注 （債務負担） （R6-R8）	・市民アンケート ・事業者アンケート ・関係機関協議 ・改定案の作成	・市民説明会 ・パブリックコメント等 ・都市計画審議会 ・両計画の改定	－	都市計画課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
現計画の評価結果や社会情勢の変化、アンケート結果、上位計画及び関連計画の内容などを踏まえ、両計画を改定する。	委託業務発注・契約 （債務負担） （R6-R8）	・基礎調査及びアンケート（市民、事業者及び中学生）の実施 ・両計画の改定の方向性を作成			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【05_03】ー 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

２．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（茄子作地区）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
土地区画整理事業への技術的・財政的支援（茄子作地区）	・都市計画決定 ・組合設立	・仮換地指定 ・造成工事	造成工事	継続	市街地開発課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
円滑な事業推進のため、組合に対し引き続き支援を行う。	令和6年9月に都市計画決定し、令和7年3月に土地区画整理組合の設立認可を受けた。	・仮換地指定（R8夏頃に延伸） ・造成工事着手			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【05_03】ー 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

３．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（村野駅西地区）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
土地区画整理事業への技術的・財政的支援（村野駅西地区）	・都市計画決定 ・組合設立	・仮換地指定 ・造成工事	造成工事	継続	市街地開発課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
円滑な事業推進のため、組合に対し引き続き支援を行う。	令和6年9月に都市計画決定し、令和7年2月に土地区画整理組合の設立認可を受けた。	・仮換地指定（手続中） ・造成工事着手			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【05_03】ー 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

４．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（高田二丁目地区）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
土地区画整理事業への技術的・財政的支援（高田二丁目地区）	・土地利用計画等の検討	・保留フレーム設定 ・準備組合の設立	・都市計画手続き等	・継続	市街地開発課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・補助金の活用に向けた隣接地区（茄子作地区）との調整を図る必要がある。 ・準備組合の設立に向けて、まちづくり検討会に対し引き続き支援を行う。	・意向調査に係る支援 ・各種勉強会実施の支援 ・関係機関協議の実施	・保留フレームの設定（R7.10） ・準備組合の設立（R8夏頃に延伸）			
年度ごとの達成状況	◎	△			

施策シート【05_03】－ 具体的な取り組み

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

５．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（長尾駅周辺地区）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
土地区画整理事業への技術的・財政的支援（長尾駅周辺地区）	土地区画整理事業検討業務委託	・保留フレーム設定 ・準備組合の設立 ・土地区画整理事業調査業務委託	・都市計画手続き等	・継続	市街地開発課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・都市計画手続きや環境影響評価など、３地区の準備組合等で地区間連携の調整を行う。 ・区域面積が約95haと広大であり、各種インフラの整備が必要なことから、全庁及び関係機関との連携・協議を行う。	・委託の仕様書の内容が適切に作成され、成果として納品された。	・保留フレームの設定（R7.10） ・準備組合の設立（２地区：設立、１地区：R8.5設立予定） ・土地区画整理事業調査業務委託（当初契約分はおおむね完了、追加分を含め次年度に繰越）			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【05_03】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
事業進捗	土地区画整理事業の実施に向け組合を設立し、仮換地指定を経て造成工事実施を目指すもの。	組合設立認可 組合設立	仮換地指定 造成工事着手	造成工事	造成工事	－	市街地開発課	２．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（茄子作地区）
各年度の実績		組合設立認可 組合設立	・仮換地指定（R8夏頃に延伸） ・造成工事着手			－	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和7年3月に土地区画整理組合の設立認可を受け、目標を達成した。仮換地指定や造成工事着手に向け、組合に対し引き続き支援を行う。								
【施策指標の分析 R7】 地権者交渉等に時間を要し仮換地指定に遅延が生じているものの、造成工事については目標どおり着手した。 引き続き、早期の仮換地指定と円滑な工事推進に向け、組合への支援を継続して行う。								

施策シート【05_03】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
事業進捗	土地区画整理事業の実施に向け組合を設立し、仮換地指定を経て造成工事実施を目指すもの。	組合設立認可 組合設立	仮換地指定 造成工事着手	造成工事	造成工事	－	市街地開発課	３．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（村野駅西地区）
各年度の実績		組合設立認可 組合設立	・仮換地指定（R8春頃に延伸） ・造成工事着手			－	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和7年2月に土地区画整理組合の設立認可を受け、目標を達成した。仮換地指定や造成工事着手に向け、組合に対し引き続き支援を行う。								
【施策指標の分析 R7】 地権者交渉等に時間を要し仮換地指定に遅延が生じているものの、造成工事については目標どおり着手した。 引き続き、早期の仮換地指定と円滑な工事推進に向け、組合への支援を継続して行う。								

施策シート【05_03】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
土地区画整理組合の設立	地権者が主体となり実施する土地区画整理事業の実現に向けて、土地区画整理組合の準備組織である土地区画整理準備組合の設立を目指すもの。	土地利用計画等の検討	保留フレーム設定 準備組合の設立	都市計画手続き等	・継続	－	市街地開発課	４．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（高田二丁目地区）
各年度の実績		意向調査・勉強会の実施、土地利用計画の検討	・保留フレームの設定（R7.10） ・準備組合の設立（R8夏頃に延伸）			－	備考	
【施策指標の分析 R6】 土地利用計画図等に意向調査や勉強会、関係機関協議の結果を反映させるように支援を行った。また、次年度早々に、土地利用計画図等について、地権者への説明会を行うことが出来るよう調整を行った。								
【施策指標の分析 R7】 まちづくり検討会による土地利用計画図等の説明会が行われたものの、準備組合の設立については、権利関係を整理し、意向の確認を行うこととなった。 引き続き、準備組合の設立に向け、まちづくり検討会への支援を継続して行う。								

施策シート【05_03】－ 施策指標

都市整備部

施策名称	公共交通を軸とした都市機能の集約化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
土地区画整理組合の設立	地権者が主体となり実施する土地区画整理事業の実現に向けて、土地区画整理組合の準備組織である土地区画整理準備組合の設立を目指すもの。	土地区画整理事業検討業務委託の実施	保留フレーム設定 準備組合の設立 土地区画整理事業調査業務委託	都市計画手続き等	継続	－	市街地開発課	５．地域が進めるまちづくりへの必要な支援（長尾駅周辺地区）
各年度の実績		公共施設のボリューム検討	・保留フレームの設定（R7.10） ・準備組合の設立（２地区：設立、1地区：R8.5設立予定） ・土地区画整理事業調査業務委託（当初契約分はおおむね完了、追加分を含め次年度に繰越）			－	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度業務委託については、仕様書の内容が適切に作成され成果が納品された。次年度は、今年度まちづくり検討会で選定された事業協力者の提案内容をもとに令和６年度業務を見直し、地域が進めるまちづくりへの支援として、事業計画案の作成及び測量業務等を実施する業務委託に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 ・令和７年度業務委託については、仕様書の内容が適切に作成されたことを確認した。なお、次年度へ繰り越した追加の委託内容についても、引き続き工期内での適切な成果の作成を確認する。 ・２地区において準備組合が設立された。１地区については、他の地区と比較して権利者数が多く、準備組合の設立同意の取得に時間を要したことから、令和８年春頃に準備組合を設立される予定。 引き続き、地域が進めるまちづくりへの支援を。継続して行う。								